

平成29年度 業務実績報告書

平成30年6月

地方独立行政法人

岐阜県立多治見病院



I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況 平成29年4月1日現在

	氏 名	役 職
理事長	原田 明生	院 長
副理事長	松葉 英之	副院長兼事務局長
理事	上田 幸夫	副院長兼医療安全部長
理事	竹田 明宏	副院長兼産婦人科部長
理事	近藤 泰三	副院長兼内科部長
理事	柘植 容子	副院長兼看護部長
理事	加藤 智子	ヤマカ㈱代表取締役
理事	村瀬 登志夫	元多治見市教育委員会教育長
監事	小島 浩一	弁護士
監事	木村 太哉	公認会計士

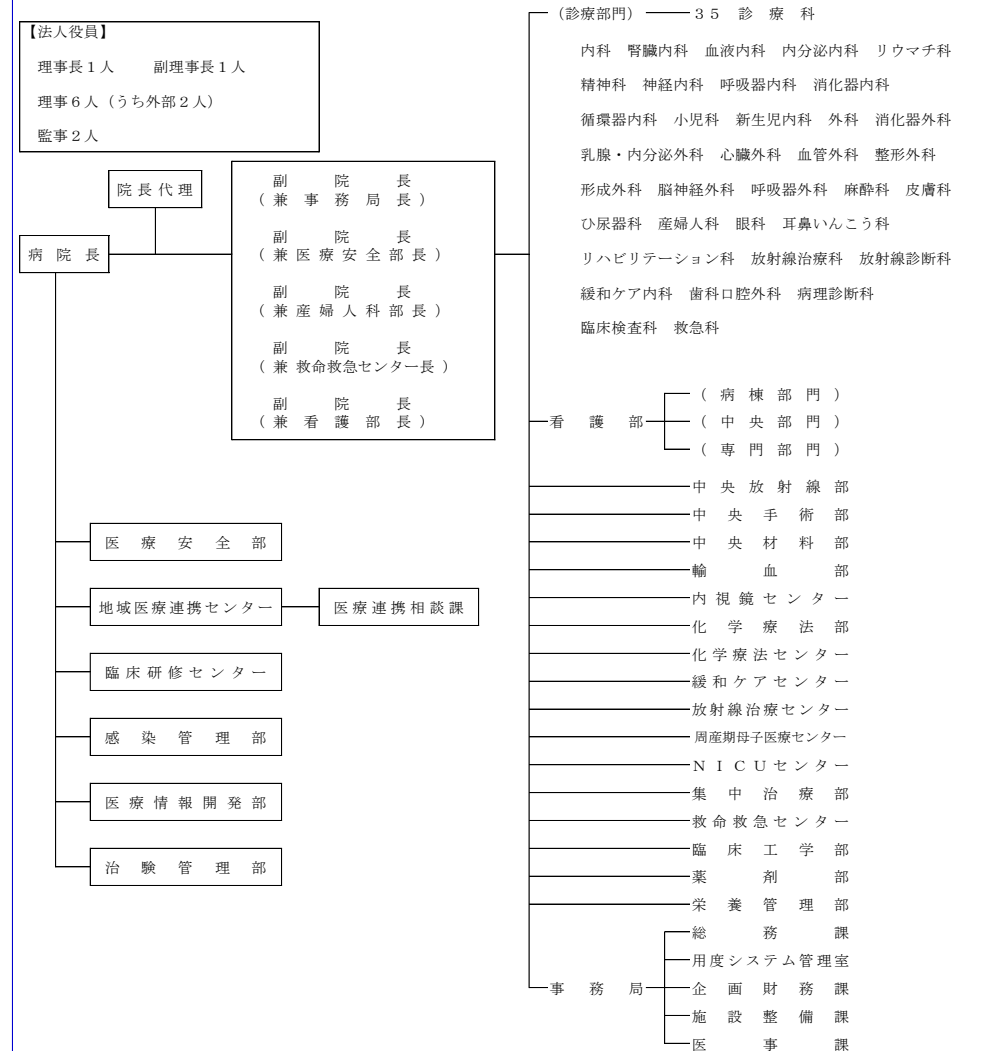
(5) 職員数(平成29年4月1日現在)

単位：人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	125	24	149
看護師	484	101	585
コメディカル	155	17	172
事務等	60	142	202
合計	824	284	1,108

(6) 組織図

平成29年4月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）は、平成22年度の設定以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

設立から平成26年度までの第1期中期目標期間中においては、理事長の強いリーダーシップの下、職員一丸となって診療機能の充実・強化及び経営改善を図り、目標としてきた質の高い医療サービスの効果的な提供に努め、高精度放射線治療システムの導入、経常収支比率100%の初年度からの達成など着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、社会保障・税一体改革大綱（平成24年2月17日閣議決定）において、急性期をはじめとする医療機能の強化、病院・病床機能の役割分担・連携の推進、在宅医療の充実などに取り組み、団塊世代が75歳以上となる平成37年に向けて医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を図ることとされている。

このため、第2期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第1期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の中核的な病院として地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

◆中央診療棟の建替えの推進

昭和56年及び59年に建てられた中央診療棟は30年以上を経過し、外来患者の増加による外来部門の狭隘化や手術室・カテーテル治療室の不足、設備（上水道など）老朽化などが深刻となっており、また災害時の診療機能にも不安が大きいため、早急な対応が求められる。

地域の基幹病院として県民・地域住民に引き続き適切な医療環境を提供するため、中央診療棟の再整備を図る必要があり、平成27年度に基本構想を、平成28年度に基本計画を策定した。

平成29年度から基本設計に着手しており、今後、実施設計、本体建設と平成34年度の開院に向けて進めていく。

◆病床機能報告

県では、2次医療圏ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の分化と連携を適切に推進するための地域医療構想が策定された。

当院においても、当院の医療機能（高度急性期、急性期、慢性期）について病棟単位で現状と今後のあり方を検討し、東濃圏域における地域医療構想構築に参画する。

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称 岐阜県立多治見病院

(2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地

(3) 沿革

年	月	概要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和56年	11月	診療本館（現 中央診療棟）一期工事完成
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）二期工事完成
昭和63年	12月	MR I棟完成
平成2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver. 5.0）の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	1月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver. 6.0）の認定取得
〃	5月	精神科病棟46床開設（再開）
平成25年	4月	高精度放射線治療センター稼働
平成28年	3月	卒後臨床研修評価機構の認定取得
〃	11月	病床数を575床へ変更（一般病床52床廃止）
平成29年	3月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG:ver1.1）の認定取得
〃	4月	血液浄化センター稼働

(4) その他

基本理念	安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。
主な役割及び機能	東濃医療圏における基幹病院として、高度先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療の提供
重点医療	救命救急医療 / 周産期医療 / がん医療 / 精神科医療・感染症医療 / 緩和ケア
診療科目	内科 腎臓内科 血液内科 内分泌内科 リウマチ科 精神科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 新生児内科 外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 心臓外科 血管外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 麻酔科 皮膚科 ひ尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線治療科 放射線診断科 緩和ケア内科 歯科口腔外科 病理診断科 臨床検査科 救急科
病床数	575床 （一般510床：結核13床：精神46床：感染症6床）
年間延べ患者数 （平成29年度）	入院 : 176,770人 外来 : 272,062人

Ⅱ 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう病床機能や規模、将来予測等をふまえ新中央診療棟整備の基本設計に着手、放射線治療装置を始めとした高度医療機器の計画的な整備、必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、チーム医療の推進、医療総合情報システム（電子カルテ）更新に向けた提案型プロポーザルの実施、医療安全対策や院内感染防止対策の充実を図った。

患者・住民サービスの向上については、地域の医療機関を検索できるシステムをよろず相談・かかりつけ医紹介センターに導入し、医療に関する相談体制の充実を図った。

患者給食の残食調査や嗜好調査を実施し、献立・食材の変更や職員教育の徹底等に取り組み、院内環境の快適性の向上を図った。

患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映する場として、地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、医療をめぐる状況と病院の方向性等についての意見交換をした。

患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q I プロジェクト」での患者満足度調査では、全国Q I プロジェクト参加病院の中で高い満足度を得ることができた。

診療体制の充実については、開業医への訪問活動や健康づくり講座の精力的な取り組み、医療連携交流会を新たに企画・開催するなど医療連携センターが中心となり地域の医療ニーズを聴取し、連携予約体制や地域連携クリニカルパスの運用方法の検討等を行った。透析センターを中病棟4階から東病棟7階に移設・拡充し、血液浄化センターとして運営を開始した。

地域医療支援病院として、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化により、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができた。（紹介率76.2%、逆紹介率88.0%）

周産期医療においては、産婦人科医1名増員、助産師3名採用により診療体制の維持・充実に努め、周産期母子医療センター長（医師）は、長年の母子保健活動の功労として公益財団法人母子衛生研究会の「母子保健奨励賞」を受賞した。がん医療においては、2台目の放射線治療装置を導入し、平成30年4月の本格稼働に向け準備を進めた。また、救命救急医療や精神科医療・感染症医療などの政策医療、地域に不足している医療や県民が必要とする医療を提供するための取組を積極的に推進した。

1-2 調査研究事業

臨床研究及び治験の推進を図っていくため、治験施設支援機関からの支援を得て、治験参加の有益性の啓発・啓蒙に努めた。

また、提供する医療の質及び地域の医療水準の向上等を図るため、日本病院会「Q I プロジェクト」、全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」に参加して、C I、Q Iデータについて分析するとともに、年報やホームページ上での公表を継続して行った。また、その分析結果を院内へ報告、検討し、PDCAサイクルに基づいた医療の質向上に努めた。

1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者を養成するため最新の医療技術や知識を習得できるよう国内外の学会や講習会への参加に必要な費用を負担し支援した。

管理的業務に従事する医師、看護師等を対象とした管理職員マネジメント研修を開催し、マネジメントや人材育成に関するスキルアップを図った。卒後臨床研修評価機構の訪問審査を受審し、認定を受けた。

平成30年4月からの新専門医制度開始に向けて、専門研修プログラムにかかる専門研修医マニュアル及び指導医マニュアルの内容を確認し、日本専門医機構に申請を行った。専攻医の募集には、内科領域で5名、外科領域で1名の応募があり、全員を採用することを決定した。

上矢作病院勤務の医師の後期研修医としての受け入れや、医学部生、看護学生等の実習を積極的に受け入れるなど、医療従事者の育成に努めた。ガイダンス等への参加によるPR効果により、実習の受け入れ者数が増加した。また、救急救命士に対する病院実習も積極的に実施し、医療技術の向上を支援した。

1-4 地域支援事業

国民健康保険上矢作病院、中津川市民病院、土岐市立総合病院へ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。

地域全体の医療水準の向上を目的に、近隣の病院や施設等へ医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。また、医療に関する鑑定調査、地域イベントに協力した。

地域医療機関や地域住民に対して、病院が保有する保健医療情報を提供するため、市民公開講座・緩和ケア市民公開講座や、医師、看護師等が公民館に出向く健康づくり講座などを行った。

1-5 災害等発生時における医療救護

災害拠点病院（平成23年10月に指定）として、大規模災害発生時等に病院機能が発揮できるよう、大規模災害を想定した災害実働訓練や、夜間などを想定した消防訓練を実施して機能を検証した。また、災害時に活用する備品（インカムトランシーバー、ヘルメット、ランタン、誘導棒、トリアージタグ等）を整備した。

県が（株）富士通総研に事業委託し設立した岐阜県BCP研修・訓練センターの「個別コンサルティングによるBCP策定支援標準プログラム（全5回）」を活用し、災害発生時の対応をまとめたミッションシートの作成に取り組み、被災時における病院機能維持のための準備体制の確立に努めた。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

効率的かつ効果的な組織体制の充実を図るため、用度システム管理室の設置など組織・業務体制の見直しをするとともに、IT化の推進、医療コンサルタントの活用を進めた。また、委託業務に関する評価システムにより、業務が契約内容に基づき適切に実施されているかの検証を引き続き実施し、改善や意識向上を図った。さらに、栄養管理部の業務合理化（栄養指導業務等に専念できる体制強化）のため、患者給食業務の全面委託（単価契約）を導入したことにより、管理栄養士の食材管理に関する業務負担が軽減し、栄養管理及び栄養指導業務を充実させることができた。特に栄養管理は介入件数が倍増した。

病院全体の重点項目及び数値目標に対し、職員個人・部門組織等で目標を設定し、その貢献度により手当を支給する業務貢献手当を新設した。業務貢献手当の支給決定には、人事評価の仕組みを活用する等、人事評価結果と業務貢献手当支給を関連付けし、職員個人・部門組織等の業務目標に対する達成意欲の向上を促し、病院全体の重点項目及び数値目標の達成を実現できる仕組みを整えた。

事務部門の専門・階層別研修に関する方針・計画を作成し、外部講師等を活用した研修の実施や、公開講座に参加するなどして職員の資質向上を図った。また新たに階層別マネジメント研修として、管理職員及びチーフ級職員を対象とした研修を実施した。

診療報酬に直接関係のあるDPC機能評価係数を上げるため、DPCデータを基にした分析システムを活用し、病院の現状を明確化することによりDPC機能評価係数を上げることができ、経営向上、医療の質向上を図った。

未収金管理システムの活用を図るとともに、弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。

材料購入では、診療材料のベンチマークシステムや医療コンサルタントを活用し、医薬品、診療材料契約単価の価格交渉を効果的にを行い、材料費の節減に努めた。また、医薬品納入業者に採用薬品に対する後発医薬品の提案を求め、実質的な薬品費削減効果も考慮しながら薬剤部主導で後発品の切り替え等を行い、数量ベースでの後発医薬品の使用比率は初めて90%を達成した。

3 予算、収支計画及び資金計画

[収益] 平均在院日数の短縮、医療連携の強化や7対1看護体制の維持などによる診療単価増により、昨年度と比べ医療収益において3.9%、収益全体でも5.7%（9.8億円）の増となった。計画に比べ医療収益において1.7%の増、収益全体でも3.0%（5.3億円）の増となった。

[費用] 材料購入における価格交渉や品目切り替え、後発医薬品の採用、多様な契約手法の導入などにより、昨年度と比べ医療費用で2.3%、全体で3.7%の増にとどまった。計画に比べ医療費用において0.5%の減、費用全体では1.0%（1.8億円）の増となった。

こうした業務運営の改善及び効率化により、単年度収支は4億5千万円の黒字となり、経常収支比率も102.0%となり、目標である100%以上を平成22年度の独立行政法人化から8年連続で達成した。職員給与費対医療収益比率は、目標の50%以下を少し上回る51.0%となり、業務の効率化や医療収益の更なる増収を目指していくことが必要となった。

経常収支比率	=	（営業収益＋営業外収益）÷（営業費用＋営業外費用）×100
営業収益		18,044,517千円
営業外収益		131,461千円
営業費用		17,081,525千円
営業外費用		740,246千円

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、有給休暇の取得について、各部門長により計画的な取得を推進するとともに、夏期休暇やリフレッシュ休暇などの休暇の取得促進を図った。また、職員食堂における特別メニュー、イベントメニューの導入や職員エリア内に設置してある飲料自動販売機の販売価格の見直しを行った。

職員の健康管理については、新規採用者のオリエンテーション時にメンタルヘルスについての研修の実施や、主査級職員を対象としたメンタルヘルス講習会の実施とともに、前期一般定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。また、定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示のあった職員に対するフォローアップも行い、健康管理対策の充実に努めた。

院内保育では、夜間保育、休日保育、及び病児保育の利便性向上に引き続き努めるとともに、新中央診療棟整備に伴う院内保育所の新築移転のため、保育所運営委託業者を交えて設計委託業者と協議を重ね、実施設計を完了し、平成31年3月移転・開設に向けた準備を行った。

医療機器整備については、新棟整備計画を踏まえ「緊急度・移設性・収益性」などを総合的に勘案し整備を進めるため、平成29年度は、高額医療機器（3,000万円以上の放射線機器・手術室機器等）について、医療経営コンサルタントのサポートを受けながら新規購入・更新の要望を取りまとめた。

また、質の高い医療を提供するための新中央診療棟整備について、プロポーザル方式により基本設計業務委託業者を選定し、平成29年7月に契約を締結し基本設計に着手した。院内各部門ワーキングにおいて具体的な検討を重ね、平成30年6月末の基本設計策定に向けて取り組んだ。また、医療総合情報システム（電子カルテ）の更新については、平成31（2019）年5月の稼働に向け計画を推進した。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目 番号	自己 評価	検証 結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	Ⅳ	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	Ⅲ	
1-1-3 診療体制の充実	03	Ⅳ	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	Ⅲ	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	Ⅲ	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	Ⅲ	
1-2-2 診療情報等の活用	07	Ⅲ	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	Ⅲ	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	Ⅲ	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	Ⅲ	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	Ⅳ	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	Ⅲ	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	Ⅲ	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	Ⅲ	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	15	Ⅲ	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	Ⅲ	

項目	項目 番号	自己 評価	検証 結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 効果的な組織体制の確立	17	Ⅲ	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	18	Ⅲ	
2-1-3 人事評価システムの構築	19	Ⅳ	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	20	Ⅳ	
2-1-5 コンプライアンスの徹底	21	Ⅲ	
2-1-6 適切な情報管理	22	Ⅲ	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	23	Ⅲ	
2-2-2 収入の確保	24	Ⅲ	
2-2-3 費用の削減	25	Ⅳ	
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	26	Ⅳ	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	27	Ⅲ	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	28	Ⅲ	
8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	29	Ⅳ	
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	30	Ⅲ	
8-5 積立金の使途	31	Ⅲ	

IV 財務情報及び人員に関する情報

指 標	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
経常収益 (千円)	17, 055, 829	17, 362, 726	18, 175, 978		
経常費用 (千円)	16, 979, 773	17, 240, 666	17, 821, 770		
経常利益 (千円)	76, 156	122, 060	354, 208		
従事人員数 (人)	1, 050	1, 095	1, 108		

V 項目別の状況

主な指標（3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画）								
	指標	達成目標（中期目標・中期計画）		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
			(参考) 前中期目標最終年度値					
	経常収支比率	100%を超過	101.6%	100.5%	100.7%	102.0%		
	医業収支比率	100%を超過	101.5%	100.1%	100.7%	102.3%		
	職員給与費対医業収支比率	50%未満	50.6%	51.5%	51.7%	51.0%		

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	1-1 診療事業 東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供する。 ※ より質の高い医療の提供 法人が有する医師、看護師、コメディカル等や、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保や各職種の専門性の向上を図るための教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの推進、チーム医療体制の充実、メディカカードの導入などITの活用 に努めること。 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、院内感染対策など医療安全対策を徹底すること。 ※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。 ※ 診療体制の充実
------	---

	医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。 ※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリティカルパスの活用など地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて東濃地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、救急医療コミュニティシステムを利用した医療画像等の患者情報の共有など他の医療機関との連携による医療提供の促進を図ること。 さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。 ※ 重点的に取り組む医療 高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救命救急医療」、「周産期医療」、「がん医療」などの高度で先進的な医療及び「精神科医療」、「感染症医療」などの政策医療を重点医療として位置付け、提供すること。 なお、がん医療については、地域がん診療連携拠点病院として、新たに整備した高精度放射線治療装置などによる先進治療に加え、地域の医療機関等との連携の推進により、緩和ケア病棟と在宅での一貫した緩和ケアが受けられる体制の充実を図ること。
--	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																						
01	※ より質の高い医療の提供 1 高度医療機器の計画的な更新・整備 2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 5 コメディカルに対する専門研修の実施 6 EBMの推進 7 専門性を発揮したチー	1 高度医療機器の計画的な更新・整備 ・ 高度・先進医療、急性期医療、政策医療等が提供できるよう病床機能や規模、将来予測等をふまえた新中央診療棟整備の基本設計に着手した。同時に新中央診療棟開院に向けた医療機器の整備について、高額医療機器（3,000 万円以上の放射線機器・手術室機器等）の新規購入・更新要望を医業経営コンサルタントのサポートを受けながら取りまとめた。（平成 30 年度中に高額医療機器以外の医療機器も含めた全体的な整備計画を策定する予定） ・ 平成 29 年 6 月 30 日に放射線治療装置（バリアン社製 True Beam）の納入が完了した。平成 30 年 4 月の本格稼働に向け、関係省庁等への許認可手続き、照射量や減衰などのデータ収集を行った。 ・ 老朽化に伴い心臓血管撮影装置を最新鋭の高機能機器（シーメンス社製 Artis Zee BC PURE）へ更新整備した。 【更新・整備した主な機器】 <table><tr><th>機器名</th><th>整備目的・用途</th></tr><tr><td>放射線治療装置（True Beam）</td><td>がんの放射線治療に使用する。治療時間の短縮化及び被ばく線量の減少による患者負担の軽減、稼働件数の増加による収益向上を見込む。</td></tr><tr><td>心臓血管撮影装置（Artis Zee BC PURE）</td><td>心疾患の診断（冠動脈血管の状態・心室や弁の動き・心房内の血圧の評価）、治療のための心臓血管造影に使用する。</td></tr></table>	機器名	整備目的・用途	放射線治療装置（True Beam）	がんの放射線治療に使用する。治療時間の短縮化及び被ばく線量の減少による患者負担の軽減、稼働件数の増加による収益向上を見込む。	心臓血管撮影装置（Artis Zee BC PURE）	心疾患の診断（冠動脈血管の状態・心室や弁の動き・心房内の血圧の評価）、治療のための心臓血管造影に使用する。	2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 ・ 麻酔科医の退職により大幅な減員となったが、大学医局との連携や代務医の招聘、医師の幹旋会社の活用により必要な医師の確保に努めた。看護師とその他のコメディカルについては、ガイダンスでの募集活動、学校訪問、地元紙・地域情報誌への求人広告掲載、ホームページでの募集活動、インターネットの求人サイトの活用、就職準備資金等の支援制度により、医療従事者の充実を行った。引き続き医師、看護師の必要数確保が課題である。(●) 【医療従事者数】 単位：人 (各年度末時点) <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>医師</td><td>124</td><td>118</td><td>123</td></tr><tr><td>看護師・助産師</td><td>463</td><td>474</td><td>472</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>149</td><td>154</td><td>167</td></tr></table> 4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 ・ 専門性の高い看護師を養成するため、認定看護師等長期研修計画に基づき、認定看護師（がん化学療法、皮膚・排洩ケア、透析看護、手術看護）については、平成 30 年度に認定取得できるように必要な研修への参加を支援した。 ・ がん専門看護師については、職員の退職に伴い 1 人減少したが、新たに 1 人が資格取得できるよう岐阜県立看護大学大学院への通学の	区分＼年度	H27	H28	H29	医師	124	118	123	看護師・助産師	463	474	472	コメディカル	149	154	167	IV	新中央診療棟整備に向けた基本設計の着手、高額医療機器の整備、電子カルテの更新準備、医療安全や感染対策の体制整備が進捗したことに加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価
機器名	整備目的・用途																										
放射線治療装置（True Beam）	がんの放射線治療に使用する。治療時間の短縮化及び被ばく線量の減少による患者負担の軽減、稼働件数の増加による収益向上を見込む。																										
心臓血管撮影装置（Artis Zee BC PURE）	心疾患の診断（冠動脈血管の状態・心室や弁の動き・心房内の血圧の評価）、治療のための心臓血管造影に使用する。																										
区分＼年度	H27	H28	H29																								
医師	124	118	123																								
看護師・助産師	463	474	472																								
コメディカル	149	154	167																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況			その他の主な取組／課題及びその改善策（●）					自己 評価	自己評価理由																																																																																																						
	ム医療の推進 8 メディカカードの導入 などの I T の活用 9 医療安全対策の充実 10 院内感染防止対策の確 立	超音波画像診断 装置	超音波画像診断（超音波を利用し生体 内の状態を検査）を行う際に使用す る。主に小児用に使用する。		支援を行った。 【認定看護師・専門看護師数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分</th><th>分野</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td rowspan="16">認定</td><td>皮膚・排泄ケア</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>集中ケア</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>緩和ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>がん化学療法看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>がん性疼痛看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>感染管理</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>新生児集中ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>摂食・嚥下障害看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>救急看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>慢性心不全看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>脳卒中リハビリテー ション看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>糖尿病看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>認知症看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>訪問看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>認定看護管理者</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>小計</td><td>18</td><td>19</td><td>19</td></tr><tr><td rowspan="2">専門</td><td>がん看護</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>急性・救急看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table> 5 コメディカルに対する専門研修の実施 ・ 最新の高度医療に対応できる技術・知識のある職員を養成するた め、学会、研修会等への参加や各種認定資格の取得、維持のため支 援を行った。 【資格取得・認定及び学会研修会等の参加状況】 <table><tr><th rowspan="2">項目 職種</th><th colspan="3">資格取得・ 認定件数(件)</th><th colspan="4">学会研修会等 延べ参加者数(人)</th></tr><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>区分</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>薬剤師</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>参加</td><td>49</td><td>47</td><td>64</td></tr></table>					区分	分野	H27	H28	H29	認定	皮膚・排泄ケア	2	2	2	集中ケア	2	2	2	緩和ケア	1	1	1	がん化学療法看護	1	1	1	がん性疼痛看護	1	1	1	感染管理	2	3	3	新生児集中ケア	1	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	救急看護	1	1	1	慢性心不全看護	1	1	1	脳卒中リハビリテー ション看護	1	1	1	糖尿病看護	1	1	1	認知症看護	1	1	1	訪問看護	1	1	1	認定看護管理者	1	1	1	小計	18	19	19	専門	がん看護	2	3	2	急性・救急看護	1	1	1	項目 職種	資格取得・ 認定件数(件)			学会研修会等 延べ参加者数(人)				H27	H28	H29	区分	H27	H28	H29	薬剤師	1	1	1	参加	49	47	64		
区分	分野	H27	H28	H29																																																																																																													
認定	皮膚・排泄ケア	2	2	2																																																																																																													
	集中ケア	2	2	2																																																																																																													
	緩和ケア	1	1	1																																																																																																													
	がん化学療法看護	1	1	1																																																																																																													
	がん性疼痛看護	1	1	1																																																																																																													
	感染管理	2	3	3																																																																																																													
	新生児集中ケア	1	1	1																																																																																																													
	摂食・嚥下障害看護	1	1	1																																																																																																													
	救急看護	1	1	1																																																																																																													
	慢性心不全看護	1	1	1																																																																																																													
	脳卒中リハビリテー ション看護	1	1	1																																																																																																													
	糖尿病看護	1	1	1																																																																																																													
	認知症看護	1	1	1																																																																																																													
	訪問看護	1	1	1																																																																																																													
	認定看護管理者	1	1	1																																																																																																													
	小計	18	19	19																																																																																																													
専門	がん看護	2	3	2																																																																																																													
	急性・救急看護	1	1	1																																																																																																													
項目 職種	資格取得・ 認定件数(件)			学会研修会等 延べ参加者数(人)																																																																																																													
	H27	H28	H29	区分	H27	H28	H29																																																																																																										
薬剤師	1	1	1	参加	49	47	64																																																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）								自己 評価	自己評価理由																																																																																																					
		・平成 29 年 4 月 11 日に発生した医療事故について、医療事故調査会の提言に基づき再発防止策を立てた。再発防止策を確実に実行するため、平成 30 年 2 月 1 日付けで医療安全部へ新たに事務職員を配置し、体制を強化した。 【インシデント・アクシデント件数】 単位：件 <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>インシデント</td><td>3,765</td><td>3,273</td><td>3,474</td></tr><tr><td>アクシデント</td><td>30</td><td>14</td><td>23</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,795</td><td>3,287</td><td>3,497</td></tr></table> 【医療安全講演会開催実績】 単位：人 <table><tr><th>テーマ（開催日）</th><th>参加数</th><th>DVD 研修会</th><th>参加率 （%）</th></tr><tr><td>ヒューマンエラーの認知科学(9/26)</td><td>662</td><td>231</td><td>83</td></tr><tr><td>患者誤認防止の取り組み(3/9)</td><td>546</td><td>466</td><td>95</td></tr></table> ※DVD研修会：参加率 100%を目指すため実施	区分＼年度	H27	H28	H29	インシデント	3,765	3,273	3,474	アクシデント	30	14	23	合計	3,795	3,287	3,497	テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 （%）	ヒューマンエラーの認知科学(9/26)	662	231	83	患者誤認防止の取り組み(3/9)	546	466	95	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>発表</td><td>6</td><td>9</td><td>8</td></tr><tr><td rowspan="2">放射線技師</td><td rowspan="2">12</td><td rowspan="2">15</td><td rowspan="2">9</td><td>参加</td><td>372</td><td>398</td><td>312</td></tr><tr><td>発表</td><td>27</td><td>33</td><td>25</td></tr><tr><td rowspan="2">臨床検査技師</td><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">7</td><td>参加</td><td>38</td><td>26</td><td>33</td></tr><tr><td>発表</td><td>5</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td rowspan="2">臨床工学技士</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">4</td><td>参加</td><td>26</td><td>22</td><td>26</td></tr><tr><td>発表</td><td>7</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td rowspan="2">リハビリ技師</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">2</td><td>参加</td><td>18</td><td>38</td><td>12</td></tr><tr><td>発表</td><td>2</td><td>1</td><td>4</td></tr><tr><td rowspan="2">管理栄養士</td><td rowspan="2">0</td><td rowspan="2">0</td><td rowspan="2">2</td><td>参加</td><td>10</td><td>9</td><td>4</td></tr><tr><td>発表</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="2">合 計</td><td rowspan="2">25</td><td rowspan="2">23</td><td rowspan="2">25</td><td>参加</td><td>513</td><td>540</td><td>451</td></tr><tr><td>発表</td><td>48</td><td>52</td><td>47</td></tr></table>					発表	6	9	8	放射線技師	12	15	9	参加	372	398	312	発表	27	33	25	臨床検査技師	6	2	7	参加	38	26	33	発表	5	2	2	臨床工学技士	4	1	4	参加	26	22	26	発表	7	6	7	リハビリ技師	2	4	2	参加	18	38	12	発表	2	1	4	管理栄養士	0	0	2	参加	10	9	4	発表	1	1	1	合 計	25	23	25	参加	513	540	451	発表	48	52	47		
区分＼年度	H27	H28	H29																																																																																																														
インシデント	3,765	3,273	3,474																																																																																																														
アクシデント	30	14	23																																																																																																														
合計	3,795	3,287	3,497																																																																																																														
テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 （%）																																																																																																														
ヒューマンエラーの認知科学(9/26)	662	231	83																																																																																																														
患者誤認防止の取り組み(3/9)	546	466	95																																																																																																														
				発表	6	9	8																																																																																																										
放射線技師	12	15	9	参加	372	398	312																																																																																																										
				発表	27	33	25																																																																																																										
臨床検査技師	6	2	7	参加	38	26	33																																																																																																										
				発表	5	2	2																																																																																																										
臨床工学技士	4	1	4	参加	26	22	26																																																																																																										
				発表	7	6	7																																																																																																										
リハビリ技師	2	4	2	参加	18	38	12																																																																																																										
				発表	2	1	4																																																																																																										
管理栄養士	0	0	2	参加	10	9	4																																																																																																										
				発表	1	1	1																																																																																																										
合 計	25	23	25	参加	513	540	451																																																																																																										
				発表	48	52	47																																																																																																										
		10 院内感染防止対策の確立 ・季節性インフルエンザの院内アウトブレイク対策として、12 月から 5 段階のフェーズからなる警報レベルの管理を継続して実施した。 ・毎週、細菌検査室から院内分離菌情報の報告を受け、アウトブレイク等のリスク評価を実施した。12 月に CRE（カルバペネム耐性腸内細菌科細菌）が 2 件発見された際には、早期に ICT（感染対策チーム：Infection Control Team）が介入し、転院先医療機関や監督官庁との情報共有することにより感染拡大には至らず終息した。 ・一般社団法人日本感染症学会が主催する「平成 29 年度院内感染対策講習会」に ICT の薬剤師 1 名が参加した。また、新たに ICT の医師 1 名が ICD（感染症対策専門医：Infection Control Doctor）の資格を取得し、感染管理体制を拡充することができた。 ・感染対策講演会の企画開催、感染対策に関する新規情報や院内の活動状況を掲載した ICT 通信の発行、院内ラウンド等を通じ、職員への教育および啓発活動に努めた。	6 EBMの推進 ・クリニカルパス推進委員会から各診療科に対し、クリニカルパスの新設や使用率向上の働きかけを行った。各診療科が、クリニカルパスの新設と同時に不要なクリニカルパスの整理に取り組んだ結果、クリニカルパスの総数は減少したが、使用率は平成 28 年度を 4 ポイント上回る 46.8%となった。	【診療科別クリニカルパスの内訳】 単位：件 <table><tr><th>診療科名＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>産婦人科</td><td>28</td><td>30</td><td>28</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>36</td><td>43</td><td>14</td></tr><tr><td>呼吸器科</td><td>3</td><td>23</td><td>23</td></tr><tr><td>外科・消化器外科</td><td>26</td><td>27</td><td>15</td></tr><tr><td>循環器科</td><td>13</td><td>14</td><td>13</td></tr><tr><td>その他</td><td>102</td><td>102</td><td>137</td></tr><tr><td>合 計</td><td>208</td><td>239</td><td>230</td></tr></table>	診療科名＼年度	H27	H28	H29	産婦人科	28	30	28	整形外科	36	43	14	呼吸器科	3	23	23	外科・消化器外科	26	27	15	循環器科	13	14	13	その他	102	102	137	合 計	208	239	230																																																																													
診療科名＼年度	H27	H28	H29																																																																																																														
産婦人科	28	30	28																																																																																																														
整形外科	36	43	14																																																																																																														
呼吸器科	3	23	23																																																																																																														
外科・消化器外科	26	27	15																																																																																																														
循環器科	13	14	13																																																																																																														
その他	102	102	137																																																																																																														
合 計	208	239	230																																																																																																														
		【クリニカルパス利用率】 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>39.6%</td><td>42.8%</td><td>46.8%</td></tr></table>	H27	H28	H29	39.6%	42.8%	46.8%																																																																																																									
H27	H28	H29																																																																																																															
39.6%	42.8%	46.8%																																																																																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																		
		【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人 <table><tr><th>テーマ（開催日）</th><th>参加数</th><th>DVD 研修会</th><th>参加率 （%）</th></tr><tr><td>MRSA のアウトブレイクを 経験して（8/3）</td><td>525</td><td>448</td><td>91.8</td></tr><tr><td>季節性インフルエンザ対策 ～アウトブレイクが起きた ら～（1/23）</td><td>595</td><td>412</td><td>94.0</td></tr></table> ※DVD研修会：参加率 100%を目指すため実施	テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 （%）	MRSA のアウトブレイクを 経験して（8/3）	525	448	91.8	季節性インフルエンザ対策 ～アウトブレイクが起きた ら～（1/23）	595	412	94.0	7 専門性を発揮したチーム医療の推進 ・ NST（栄養サポートチーム）、RST（呼吸ケアサポートチーム）、ICT（感染防止対策チーム）、精神科リエゾンチーム、褥瘡チーム、PCT（緩和ケアチーム）、糖尿病チーム、医療安全チーム、摂食嚥下チーム、口腔ケアチームによる活動を行った。																																								
テーマ（開催日）	参加数	DVD 研修会	参加率 （%）																																																				
MRSA のアウトブレイクを 経験して（8/3）	525	448	91.8																																																				
季節性インフルエンザ対策 ～アウトブレイクが起きた ら～（1/23）	595	412	94.0																																																				
02	※ 患者・住民サービスの向上 1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 2 院内環境の快適性の向上 3 医療に関する相談体制の充実 4 患者中心の医療の提供 5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映	1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・ 中央放射線及び生理検査について 9～12 月の 4 ヶ月間、待ち時間調査を実施した。全体的に予約枠内で遅滞なく検査が実施されており病院全体の平均待ち時間は 17 分と前年を下回る結果となった。 ・ 非常勤放射線技師を午後医療連携業務に専従させて、連携業務や医療機関訪問活動を重点的に実施した結果、CTやMRI といった高度医療機器利用件数が増加した。 ・ 午前の手術枠を 4 枠から 6 枠に増やしたことで、手術件数が前年比で 119 件増加した。 【平均待ち時間】 単位：分 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>22</td><td>20</td><td>17</td></tr></table> ※待ち時間は病院全体の時間 【CT、MRI 検査件数】 単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>CT 件数</td><td>29,355</td><td>29,516</td><td>32,872</td></tr><tr><td>MRI 件数</td><td>9,862</td><td>9,833</td><td>10,208</td></tr></table> 【手術件数】 単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>手術室</td><td>4,969</td><td>4,814</td><td>4,933</td></tr><tr><td>中放内視鏡</td><td>2,512</td><td>2,471</td><td>2,778</td></tr><tr><td>合計</td><td>7,481</td><td>7,284</td><td>7,711</td></tr></table>	H27	H28	H29	22	20	17	区分\年度	H27	H28	H29	CT 件数	29,355	29,516	32,872	MRI 件数	9,862	9,833	10,208	区分\年度	H27	H28	H29	手術室	4,969	4,814	4,933	中放内視鏡	2,512	2,471	2,778	合計	7,481	7,284	7,711	2 院内環境の快適性の向上 ・ 老朽化した東病棟の空調設備（エアハンドリング）修繕工事については、平成 28 年度から 5 ヶ年計画で実施している。平成 29 年度は、2 階部分の設備を更新し、院内環境の快適性を向上させた。 ・ 治療効果を高めるため、食事制限などのある患者の食事相談や指導をした。また、喫食量の低下した患者や低栄養の患者に対し、NST が早期に介入し、多職種協同で栄養管理を行い、早期改善に努めた。毎食の残食調査、2 ヶ月ごとの嗜好調査を実施し、献立・食材の変更、職員教育の徹底等の見直しに取り組んだ。その結果、嗜好調査で「満足・やや満足」と回答する割合が、年度当初の 42% から年度末 56% と 1 年間で 14 ポイント上昇した。 【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件 <table><tr><th>項目\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>栄養指導</td><td>4,552</td><td>5,164</td><td>5,113</td></tr><tr><td>栄養管理</td><td>2,017</td><td>1,044</td><td>2,140</td></tr><tr><td>NST 介入</td><td>433</td><td>430</td><td>442</td></tr></table> 4 患者中心の医療の提供 ・ 患者サポート体制カンファレンスを毎週 1 回開催し、医療相談、クレーム事例などから患者の意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせ、患者の権利の保障について検討した。また、インシデント事例から、今後フォローが必要になりそうな患者について情報共有を行った。 ・ 患者図書室については、患者からの要望に応え、昼休みの開館、開館時間の延長、病棟への巡回図書サービスを開始等に取り組み、利便性を高めた。	項目\年度	H27	H28	H29	栄養指導	4,552	5,164	5,113	栄養管理	2,017	1,044	2,140	NST 介入	433	430	442	III	待ち時間の短縮、効率的な検査・手術の施行による件数増や相談件数の増加がみられたが、項目全体では、平年並みに実績と評価
H27	H28	H29																																																					
22	20	17																																																					
区分\年度	H27	H28	H29																																																				
CT 件数	29,355	29,516	32,872																																																				
MRI 件数	9,862	9,833	10,208																																																				
区分\年度	H27	H28	H29																																																				
手術室	4,969	4,814	4,933																																																				
中放内視鏡	2,512	2,471	2,778																																																				
合計	7,481	7,284	7,711																																																				
項目\年度	H27	H28	H29																																																				
栄養指導	4,552	5,164	5,113																																																				
栄養管理	2,017	1,044	2,140																																																				
NST 介入	433	430	442																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																							
		3 医療に関する相談体制の充実 - 患者やその家族からの医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する医療相談の他に、受診診療科や病気などの様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターなどを活用した丁寧な相談体制で対応ができた。 - 地域の医療機関を検索できるシステムを構築し、専用の端末をよろず相談・かかりつけ医紹介センターに配置した。退院後の連携先医療機関に対する相談体制を拡充した。 - 岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部主催の研修会（年6回開催）や、国立がん研修センター等の主催する研修会に参加し相談員のスキルアップを図った。特に平成 29 年度は、がん相談関連の研修に積極的に参加した。 【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件 <table><tr><th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>かかりつけ医への紹介</td><td>251</td><td>322</td><td>423</td></tr><tr><td>よろず相談</td><td>1,480</td><td>1,129</td><td>1,434</td></tr></table> 【医療相談件数】 単位：件 <table><tr><th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>医療相談件数</td><td>12,303</td><td>14,597</td><td>15,969</td></tr><tr><td>がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数</td><td>99</td><td>55</td><td>58</td></tr></table> 【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件 <table><tr><th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>請求件数</td><td>64</td><td>57</td><td>61</td></tr><tr><td>開示件数</td><td>62</td><td>42</td><td>57</td></tr></table>	項目＼年度	H27	H28	H29	かかりつけ医への紹介	251	322	423	よろず相談	1,480	1,129	1,434	項目＼年度	H27	H28	H29	医療相談件数	12,303	14,597	15,969	がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数	99	55	58	項目＼年度	H27	H28	H29	請求件数	64	57	61	開示件数	62	42	57	【患者図書室利用実績】 <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>利用者数（単位：人）</td><td>10,552</td><td>9,830</td><td>8,836</td></tr><tr><td>稼働日数（単位：日）</td><td>242</td><td>242</td><td>243</td></tr><tr><td>1 日平均（単位：日）</td><td>43.6</td><td>40.6</td><td>36.4</td></tr></table> 5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 - 電子カルテ内のインフォームド・コンセントにおける同意書と説明書の見直しを行い、旧様式から新様式への編集・移行作業を完了させた。よりの確なインフォームド・コンセントを実施できる体制を整えた。 - セカンドオピニオンについては、受診希望者に対し、医療連携室が窓口となり一元的に対応し、引き続き迅速な予約体制を維持した。 【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件 <table><tr><th>区分＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>外来受入</td><td>20</td><td>6</td><td>5</td></tr><tr><td>他院紹介</td><td>70</td><td>61</td><td>76</td></tr></table> 6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 - 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、病院施設の整備（新中央診療棟、立体駐車場、保育所建設）、がん放射線治療装置の拡充整備、地域医療連携の取り組み等をテーマに意見交換を行った。 - 患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q I プロジェクト」での患者満足度調査では、全国Q I プロジェクト参加病院の中では高い満足度を得ることができた。 【満足度調査の比較】 単位：％ <table><tr><th rowspan="2">項目 ＼ 年度</th><th colspan="3">満足度</th></tr><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr></table>	区分＼年度	H27	H28	H29	利用者数（単位：人）	10,552	9,830	8,836	稼働日数（単位：日）	242	242	243	1 日平均（単位：日）	43.6	40.6	36.4	区分＼年度	H27	H28	H29	外来受入	20	6	5	他院紹介	70	61	76	項目 ＼ 年度	満足度			H27	H28	H29		
項目＼年度	H27	H28	H29																																																																									
かかりつけ医への紹介	251	322	423																																																																									
よろず相談	1,480	1,129	1,434																																																																									
項目＼年度	H27	H28	H29																																																																									
医療相談件数	12,303	14,597	15,969																																																																									
がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数	99	55	58																																																																									
項目＼年度	H27	H28	H29																																																																									
請求件数	64	57	61																																																																									
開示件数	62	42	57																																																																									
区分＼年度	H27	H28	H29																																																																									
利用者数（単位：人）	10,552	9,830	8,836																																																																									
稼働日数（単位：日）	242	242	243																																																																									
1 日平均（単位：日）	43.6	40.6	36.4																																																																									
区分＼年度	H27	H28	H29																																																																									
外来受入	20	6	5																																																																									
他院紹介	70	61	76																																																																									
項目 ＼ 年度	満足度																																																																											
	H27	H28	H29																																																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)					自己 評価	自己評価理由																																
			<table><tr><td rowspan="2">入院</td><td>当院</td><td>95.6</td><td>98.1</td><td>95.5</td></tr><tr><td>QI プロジェクト参加病院 (平均値)</td><td>89.3</td><td>89.1</td><td>89.9</td></tr><tr><td rowspan="2">外来</td><td>当院</td><td>87.2</td><td>87.7</td><td>87.2</td></tr><tr><td>QI プロジェクト参加病院 (平均値)</td><td>81.7</td><td>83.0</td><td>82.5</td></tr></table> ※ QI プロジェクトデータを全て引用					入院	当院	95.6	98.1	95.5	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	89.3	89.1	89.9	外来	当院	87.2	87.7	87.2	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	81.7	83.0	82.5																
入院	当院	95.6	98.1	95.5																																					
	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	89.3	89.1	89.9																																					
外来	当院	87.2	87.7	87.2																																					
	QI プロジェクト参加病院 (平均値)	81.7	83.0	82.5																																					
03	※ 診療体制の充実 1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 2 多様な専門職の積極的な活用	1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 - 医療連携センターが中心となり、開業医への訪問活動、地域医療連携推進協議会、可児・東濃地域病病連携推進会議、地域連携クリニカルパス合同委員会、健康づくり講座等に取り組んだ。 - 特に開業医への訪問活動は 100 件、健康づくり講座は過去最多の 20 回と精力的に取り組む、新たに医療連携交流会（講演会及び開業医と当院医師の意見交換会）を企画・開催した。これらの活動を通じ、地域の医療ニーズを聴取し、院内関係部門と情報を共有するとともに連携予約体制や地域連携パスの運用方法の検討等を行い診療体制の充実を図った。 - 透析センターを中病棟 4 階から東病棟 7 階に移設し、血液浄化センターとして、平成 29 年 4 月から運営を開始した。透析ベッドの増床（6 床→15 床）に伴い、血液浄化業務が大幅に増加した。透析導入期の患者に対する診療体制を整備することができた。 【連携予約状況】 <table><tr><td>区分\年度</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>1,019</td><td>1,217</td><td>1,213</td></tr><tr><td>神経内科</td><td>871</td><td>880</td><td>818</td></tr><tr><td>消化器内科</td><td>1,738</td><td>1,675</td><td>1,715</td></tr><tr><td>その他</td><td>9,604</td><td>10,028</td><td>10,732</td></tr><tr><td>合 計</td><td>13,232</td><td>13,800</td><td>14,478</td></tr></table> 【訪問活動・健康づくり講座】 <table><tr><td>区分\年度</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr><tr><td>訪問活動（件）</td><td>44</td><td>17</td><td>100</td></tr><tr><td>健康づくり講座（回）</td><td>12</td><td>15</td><td>20</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	整形外科	1,019	1,217	1,213	神経内科	871	880	818	消化器内科	1,738	1,675	1,715	その他	9,604	10,028	10,732	合 計	13,232	13,800	14,478	区分\年度	H27	H28	H29	訪問活動（件）	44	17	100	健康づくり講座（回）	12	15	20		IV	開業医への訪問活動、健康づくり講座、医療連携交流会（新規事業）等の精力的な取組による成果が連携予約件数増に表れていること、新たに介護福祉士等を採用し、病棟の看護業務軽減を図っていることから項目全体で特に進捗していると評価
区分\年度	H27	H28	H29																																						
整形外科	1,019	1,217	1,213																																						
神経内科	871	880	818																																						
消化器内科	1,738	1,675	1,715																																						
その他	9,604	10,028	10,732																																						
合 計	13,232	13,800	14,478																																						
区分\年度	H27	H28	H29																																						
訪問活動（件）	44	17	100																																						
健康づくり講座（回）	12	15	20																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																												
		【医療連携交流会】新規 単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H29</th></tr><tr><td>院外参加者数</td><td>35</td></tr><tr><td>院内参加者数</td><td>40</td></tr><tr><td>合 計</td><td>75</td></tr></table> 2 多様な専門職の積極的な活用 - 再雇用制度を活用し、定年を迎えた高い専門性を有する職員を再雇用し、安定的な診療体制の充実を図った。（看護師・准看護師 12 名、診療放射線技師 2 名、事務職員 2 名） - 看護師の業務負担軽減のため、新たに介護福祉士 14 名とヘルパー 5 名を採用し、病棟に配置した。	区分\年度	H29	院外参加者数	35	院内参加者数	40	合 計	75																																							
区分\年度	H29																																																
院外参加者数	35																																																
院内参加者数	40																																																
合 計	75																																																
04	※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化 2 地域連携クリティカルパスの整備普及 3 救急医療コミュニティシステム等の活用 4 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する連携強化	1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化 地域医療機関向けの講演会や、市民向けの健康づくり講座、医療連携交流会を通じて、近隣病院との役割分担の明確化と連携強化を図った。また、多治見シャトル（かかりつけ医へ患者の診療予定日をお知らせする仕組み）については、訪問活動時等におけるPR活動により、利用件数が増加した。さらに、地域の医療機関を検索できるシステムを構築し、よろず相談・かかりつけ紹介センターに専用の端末を設置した。患者が地域の登録医を手軽に検索できるよう利便性を向上させた。これらの取り組みにより、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持することができ、地域医療支援病院としての要件を満たした。 【多治見シャトル利用】 単位：件 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>702</td><td>1,082</td><td>1,626</td></tr></table> 【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位：％ <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>58.8</td><td>61.2</td><td>63.7</td></tr></table>	H27	H28	H29	702	1,082	1,626	H27	H28	H29	58.8	61.2	63.7	2 地域連携クリティカルパスの整備普及 地域連携クリニカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5 大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、地域医療連携推進協議会（年 4 回）や新たに医療連交流会（医療連携講演会及び意見交換）を開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。また、地域連携クリニカルパスの登録医、関係機関との合同委員会（カンファレンス）を年 3 回開催し、運用上の問題点や意見を集約し、運用の見直しを行った。 【地域連携パス運用実績】 単位：件 <table><tr><th>パス名\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>100</td><td>100</td><td>115</td></tr><tr><td>脳卒中</td><td>222</td><td>263</td><td>247</td></tr><tr><td>5 大がん</td><td>22</td><td>30</td><td>12</td></tr><tr><td>狭心症・心筋梗塞</td><td>117</td><td>92</td><td>65</td></tr><tr><td>糖尿病</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>合 計</td><td>461</td><td>485</td><td>439</td></tr></table> 【共同指導・連携指導の実績】 単位：件 <table><tr><th>項目\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr></table>	パス名\年度	H27	H28	H29	大腿骨頸部骨折	100	100	115	脳卒中	222	263	247	5 大がん	22	30	12	狭心症・心筋梗塞	117	92	65	糖尿病	0	0	0	合 計	461	485	439	項目\年度	H27	H28	H29	III	開業医への訪問活動、健康づくり講座、医療連携交流会（新規事業）等の精力的な取組による成果が紹介率・逆紹介率の上昇、高度医療機器利用件数増等に表れており、特に進捗しているが、地域連携クリニカルパスの運用実績は大きな変動はなく、項目全体では、平年並みの実績と評価
H27	H28	H29																																															
702	1,082	1,626																																															
H27	H28	H29																																															
58.8	61.2	63.7																																															
パス名\年度	H27	H28	H29																																														
大腿骨頸部骨折	100	100	115																																														
脳卒中	222	263	247																																														
5 大がん	22	30	12																																														
狭心症・心筋梗塞	117	92	65																																														
糖尿病	0	0	0																																														
合 計	461	485	439																																														
項目\年度	H27	H28	H29																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																						
		【紹介率・逆紹介率】 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>紹介率（単位：％）</td><td>65.7</td><td>75.7</td><td>76.2</td></tr><tr><td>紹介実件数（単位：件）</td><td>22,506</td><td>22,553</td><td>22,651</td></tr><tr><td>逆紹介率（単位：％）</td><td>77.3</td><td>86.2</td><td>88.0</td></tr><tr><td>逆紹介実件数（単位：件）</td><td>17,796</td><td>17,325</td><td>17,437</td></tr></table> 【高度医療機器利用状況】 単位：件 <table><tr><th>機器名\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>C T</td><td>762</td><td>887</td><td>924</td></tr><tr><td>M R I</td><td>628</td><td>580</td><td>666</td></tr><tr><td>R I</td><td>137</td><td>128</td><td>128</td></tr><tr><td>P E T</td><td>60</td><td>57</td><td>58</td></tr><tr><td>骨密度</td><td>46</td><td>63</td><td>66</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,633</td><td>1,715</td><td>1,842</td></tr></table> 【開放型病床利用】 単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>医科</td><td>13</td><td>21</td><td>50</td></tr><tr><td>歯科</td><td>26</td><td>22</td><td>24</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	紹介率（単位：％）	65.7	75.7	76.2	紹介実件数（単位：件）	22,506	22,553	22,651	逆紹介率（単位：％）	77.3	86.2	88.0	逆紹介実件数（単位：件）	17,796	17,325	17,437	機器名\年度	H27	H28	H29	C T	762	887	924	M R I	628	580	666	R I	137	128	128	P E T	60	57	58	骨密度	46	63	66	合 計	1,633	1,715	1,842	区分\年度	H27	H28	H29	医科	13	21	50	歯科	26	22	24	<table><tr><td>退院時共同指導実績</td><td>112</td><td>90</td><td>129</td></tr><tr><td>介護支援連携指導</td><td>231</td><td>187</td><td>184</td></tr></table> 3 救急医療コミュニティシステム等の活用 - 岐阜県地域連携ネットワークシステム「ぎふ清流ネット」について診療所等への普及活動を行った。また、医療総合情報システム（電子カルテ）更新後にもデータ連携できるよう検討を進めた。（年度末時点の登録施設数：13施設） 4 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する連携強化 - 退院前に医師、看護師、地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携を強化するとともに、安全・安楽に在宅療養できるよう支援を行った。 - 医療相談室を毎週木曜日に定例開催し、退院調整看護師と医療相談員で情報を共有し、円滑な退院支援に努めた。 - 適切な退院、転院を進めるために、医療機関や介護・福祉機関を継続的に訪問し、在宅復帰率 75%以上を達成し在宅復帰率の安定的な維持を図った。 【在宅復帰率】 単位：％ <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>87.47</td><td>86.50</td><td>87.3</td></tr></table> 【相談対応件数】 単位：件 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>12,303</td><td>14,597</td><td>15,969</td></tr></table> 【合同カンファレンスの実績】 単位：件 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>231</td><td>277</td><td>313</td></tr></table>	退院時共同指導実績	112	90	129	介護支援連携指導	231	187	184	H27	H28	H29	87.47	86.50	87.3	H27	H28	H29	12,303	14,597	15,969	H27	H28	H29	231	277	313		
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																								
紹介率（単位：％）	65.7	75.7	76.2																																																																																								
紹介実件数（単位：件）	22,506	22,553	22,651																																																																																								
逆紹介率（単位：％）	77.3	86.2	88.0																																																																																								
逆紹介実件数（単位：件）	17,796	17,325	17,437																																																																																								
機器名\年度	H27	H28	H29																																																																																								
C T	762	887	924																																																																																								
M R I	628	580	666																																																																																								
R I	137	128	128																																																																																								
P E T	60	57	58																																																																																								
骨密度	46	63	66																																																																																								
合 計	1,633	1,715	1,842																																																																																								
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																								
医科	13	21	50																																																																																								
歯科	26	22	24																																																																																								
退院時共同指導実績	112	90	129																																																																																								
介護支援連携指導	231	187	184																																																																																								
H27	H28	H29																																																																																									
87.47	86.50	87.3																																																																																									
H27	H28	H29																																																																																									
12,303	14,597	15,969																																																																																									
H27	H28	H29																																																																																									
231	277	313																																																																																									
05	※ 重点的に取り組む医療 1 救命救急医療	2 周産期医療 東濃地域の地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24 時間対応できる体制を維持確保した。現在の診療体制を維	1 救命救急医療 麻酔科医師の大幅な減員といった大変厳しい状況の中、救命救急センターと各診療科の緊密な連携、協力のもと救命救急医療体制の	Ⅲ	救命救急医療体制の整備、周産期医療を担う医師等の増員、周産期医療																																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																								
2	周産期医療	持、充実させるために継続して医師、助産師の確保、増員に努めた結果、産婦人科医が1名増加し、7名体制となった。また新たに助産師3名を採用した。 周産期母子医療センター長（医師）が、長年の母子保健活動の功労として公益財団法人母子衛生研究会の「母子保健奨励賞」を受賞した。（岐阜県内では8人目の受賞） 【周産期母子医療センターの主な実績】 <table><thead><tr><th colspan="2">区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="2">分娩件数（単位：件）</td><td>492</td><td>528</td><td>533</td></tr><tr><td colspan="2">新生児数（単位：人）</td><td>534</td><td>563</td><td>563</td></tr><tr><td rowspan="3">年間入院者数</td><td>NICU（単位：人）</td><td>264</td><td>254</td><td>219</td></tr><tr><td>GCU（単位：人）</td><td>461</td><td>449</td><td>444</td></tr><tr><td>産科（単位：人）</td><td>575</td><td>674</td><td>719</td></tr><tr><td colspan="2">母胎搬送件数（単位：件）</td><td>79</td><td>92</td><td>95</td></tr><tr><td colspan="2">新生児搬送件数（単位：件）</td><td>84</td><td>60</td><td>52</td></tr></tbody></table>	区分\年度		H27	H28	H29	分娩件数（単位：件）		492	528	533	新生児数（単位：人）		534	563	563	年間入院者数	NICU（単位：人）	264	254	219	GCU（単位：人）	461	449	444	産科（単位：人）	575	674	719	母胎搬送件数（単位：件）		79	92	95	新生児搬送件数（単位：件）		84	60	52	維持確保に努めた。また急性期心臓血管疾患に対応するため専門医を10名（平成28年度と同数）配置した。 救急受診後の患者診療体制として、翌日等に対象診療科に受診できるように診療枠を設定した。 【救命救急センター受入実績（延患者数及び病床利用率）】 <table><thead><tr><th>年 度</th><th colspan="2">H27</th><th colspan="2">H28</th><th colspan="2">H29</th></tr><tr><th>項 目</th><th>延患者数 （人）</th><th>病床利用率 （%）</th><th>延患者数 （人）</th><th>病床利用率 （%）</th><th>延患者数 （人）</th><th>病床利用率 （%）</th></tr></thead><tbody><tr><td>ICU</td><td>1,656</td><td>56.6</td><td>1,539</td><td>52.7</td><td>1,440</td><td>49.3</td></tr><tr><td>CCU</td><td>891</td><td>81.1</td><td>844</td><td>77.1</td><td>907</td><td>82.8</td></tr><tr><td>HCU</td><td>1,914</td><td>58.1</td><td>1,678</td><td>51.1</td><td>1,688</td><td>51.4</td></tr><tr><td>合 計</td><td>4,461</td><td>60.9</td><td>4,061</td><td>55.6</td><td>4,035</td><td>55.3</td></tr></tbody></table> 【救急車両受入台数】単位：台 <table><thead><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr></thead><tbody><tr><td>受入台数</td><td>4,933</td><td>4,678</td><td>4,973</td></tr><tr><td>一日平均台数</td><td>13.5</td><td>12.8</td><td>13.6</td></tr></tbody></table> 【心臓血管手術症例数】単位：件 <table><thead><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr></thead><tbody><tr><td>虚血性心疾患</td><td>28</td><td>25</td><td>36</td></tr><tr><td>弁膜症</td><td>31</td><td>29</td><td>37</td></tr><tr><td>大動脈</td><td>34</td><td>47</td><td>53</td></tr><tr><td>その他</td><td>17</td><td>81</td><td>92</td></tr><tr><td>合 計</td><td>110</td><td>182</td><td>218</td></tr></tbody></table> 【手術・検査件数】単位：件 <table><thead><tr><th>区分\年</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr></thead><tbody><tr><td>心カテ</td><td>976</td><td>981</td><td>1,022</td></tr><tr><td>P C I※</td><td>380</td><td>385</td><td>443</td></tr></tbody></table> ※PCI：冠動脈形成術 【循環器系】単位：件 <table><thead><tr><th>区分\年</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr></thead><tbody><tr><td>アブレーション</td><td>73</td><td>78</td><td>98</td></tr></tbody></table>	年 度	H27		H28		H29		項 目	延患者数 （人）	病床利用率 （%）	延患者数 （人）	病床利用率 （%）	延患者数 （人）	病床利用率 （%）	ICU	1,656	56.6	1,539	52.7	1,440	49.3	CCU	891	81.1	844	77.1	907	82.8	HCU	1,914	58.1	1,678	51.1	1,688	51.4	合 計	4,461	60.9	4,061	55.6	4,035	55.3	区分\年度	H27	H28	H29	受入台数	4,933	4,678	4,973	一日平均台数	13.5	12.8	13.6	区分\年度	H27	H28	H29	虚血性心疾患	28	25	36	弁膜症	31	29	37	大動脈	34	47	53	その他	17	81	92	合 計	110	182	218	区分\年	H27	H28	H29	心カテ	976	981	1,022	P C I※	380	385	443	区分\年	H27	H28	H29	アブレーション	73	78	98		の地域貢献が高く評価され、医師1名が公益社団法人母子衛生研修会の「母子保健奨励賞」を受賞、放射線治療の着実な実施及び、放射線治療器の増設等によるがん治療体制の整備等が、評価できるが、項目全体では、平年並みの実績と評価
区分\年度			H27	H28	H29																																																																																																																																								
分娩件数（単位：件）			492	528	533																																																																																																																																								
新生児数（単位：人）			534	563	563																																																																																																																																								
年間入院者数	NICU（単位：人）		264	254	219																																																																																																																																								
	GCU（単位：人）		461	449	444																																																																																																																																								
	産科（単位：人）		575	674	719																																																																																																																																								
母胎搬送件数（単位：件）			79	92	95																																																																																																																																								
新生児搬送件数（単位：件）			84	60	52																																																																																																																																								
年 度	H27		H28		H29																																																																																																																																								
項 目	延患者数 （人）	病床利用率 （%）	延患者数 （人）	病床利用率 （%）	延患者数 （人）	病床利用率 （%）																																																																																																																																							
ICU	1,656	56.6	1,539	52.7	1,440	49.3																																																																																																																																							
CCU	891	81.1	844	77.1	907	82.8																																																																																																																																							
HCU	1,914	58.1	1,678	51.1	1,688	51.4																																																																																																																																							
合 計	4,461	60.9	4,061	55.6	4,035	55.3																																																																																																																																							
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																																																																										
受入台数	4,933	4,678	4,973																																																																																																																																										
一日平均台数	13.5	12.8	13.6																																																																																																																																										
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																																																																										
虚血性心疾患	28	25	36																																																																																																																																										
弁膜症	31	29	37																																																																																																																																										
大動脈	34	47	53																																																																																																																																										
その他	17	81	92																																																																																																																																										
合 計	110	182	218																																																																																																																																										
区分\年	H27	H28	H29																																																																																																																																										
心カテ	976	981	1,022																																																																																																																																										
P C I※	380	385	443																																																																																																																																										
区分\年	H27	H28	H29																																																																																																																																										
アブレーション	73	78	98																																																																																																																																										
3	がん医療	3 がん医療 - 高精度放射線治療装置（ノバリスTx）にて、根治照射・予防照射・緩和照射等より正確で質の高い放射線治療を提供するとともに放射線治療品質管理委員会を開催（年2回）し、放射線治療の現状・品質管理などについて検討を行った。また化学療法センターを拡張整備する等、地域がん診療連携拠点病院として先進治療の実施に努めた。 - 新たな放射線治療装置（バリアン社製 True Beam）の納入が平成29年6月30日に完了した。平成30年4月の本格稼働に向け関係省庁等への許認可手続き、照射量や減衰などのデータ収集を行った。 - 県内統一のがん地域連携クリニカルパスについてパスコーディネーターを中心に適用患者の増進に努めた。 【がん患者等の状況】 <table><thead><tr><th colspan="2">項目\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="2">入院患者数（単位：人）</td><td>2,622</td><td>2,695</td><td>2,805</td></tr><tr><td colspan="2">外来患者数（単位：人）</td><td>1,496</td><td>1,675</td><td>1,877</td></tr><tr><td colspan="2">手術件数</td><td>1,108</td><td>1,121</td><td>1,108</td></tr><tr><td rowspan="2">化学療法件数</td><td>入院</td><td>1,272</td><td>1,824</td><td>1,510</td></tr><tr><td>外来</td><td>11,894</td><td>11,403</td><td>11,610</td></tr><tr><td colspan="2">放射線治療施行回数</td><td>入院</td><td>3,031</td><td>2,958</td><td>2,853</td></tr></tbody></table>	項目\年度		H27	H28	H29	入院患者数（単位：人）		2,622	2,695	2,805	外来患者数（単位：人）		1,496	1,675	1,877	手術件数		1,108	1,121	1,108	化学療法件数	入院	1,272	1,824	1,510	外来	11,894	11,403	11,610	放射線治療施行回数		入院	3,031	2,958	2,853																																																																																																								
項目\年度		H27	H28	H29																																																																																																																																									
入院患者数（単位：人）		2,622	2,695	2,805																																																																																																																																									
外来患者数（単位：人）		1,496	1,675	1,877																																																																																																																																									
手術件数		1,108	1,121	1,108																																																																																																																																									
化学療法件数	入院	1,272	1,824	1,510																																																																																																																																									
	外来	11,894	11,403	11,610																																																																																																																																									
放射線治療施行回数		入院	3,031	2,958	2,853																																																																																																																																								
4	精神科医療・感染症医療																																																																																																																																												
5	緩和ケア																																																																																																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況				その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																
			外来	5, 429	4, 864	5, 185																																		
		【がんパス件数】 単位：件 <table><tr><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr><tr><td>22</td><td>30</td><td>12</td></tr></table>				H27	H28	H29	22	30	12																													
H27	H28	H29																																						
22	30	12																																						
		【高精度放射線治療システム（ノバルスT x）】 <table><tr><td>項目＼年度</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr><tr><td>患者数（単位：人）</td><td>264</td><td>307</td><td>344</td></tr><tr><td>強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）</td><td>239</td><td>273</td><td>254</td></tr><tr><td>延べ件数（単位：件）</td><td>5, 076</td><td>5, 988</td><td>6, 491</td></tr></table>				項目＼年度	H27	H28	H29	患者数（単位：人）	264	307	344	強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	239	273	254	延べ件数（単位：件）	5, 076	5, 988	6, 491																			
項目＼年度	H27	H28	H29																																					
患者数（単位：人）	264	307	344																																					
強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	239	273	254																																					
延べ件数（単位：件）	5, 076	5, 988	6, 491																																					
						<table><tr><td>PMI※</td><td>54</td><td>64</td><td>52</td></tr><tr><td>I CD※</td><td>16</td><td>12</td><td>18</td></tr></table> ※PMI：ペースメーカー埋込 I CD：植え込み型除細動器 【狭心症・心筋梗塞パス運用実績】 <table><tr><td>項目＼年度</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr><tr><td>パス運用（単位：件）</td><td>117</td><td>92</td><td>65</td></tr><tr><td>登録医師数（単位：人）</td><td>72</td><td>74</td><td>73</td></tr></table> 4 精神科医療・感染症医療 ・ 東濃地域の唯一の結核指定医療機関及び感染症指定医療機関として救急患者や他の医療機関で対応が困難な患者の受け入れ体制を継続維持した。 ・ 東濃精神科医療連絡会の開催（年3回）や、県内の医療機関との情報交換により症例検討のほか、各機関での取組みや近況の報告等を行い、地域の医療機関、行政、福祉施設等との精神医療に関する情報交換を行った。 ・ 精神科病棟における結核患者受け入れ対策について、看護職員に対する勉強会を実施した。 ・ 精神保健福祉士を精神科病棟に平成 30 年 2 月 1 日付けで配属した。 【患者の受入れ実績】 単位：人 <table><tr><td>病床＼年度</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr><tr><td>結核、感染症</td><td>3, 072</td><td>3, 361</td><td>2, 957</td></tr><tr><td>精神科</td><td>6, 937</td><td>6, 220</td><td>5, 900</td></tr></table> 5 緩和ケア ・ 緩和ケアセンターを活用し、退院支援カンファレンスや緩和ケアに関わる他医療機関及び多職種連携のカンファレンスを開催した。入院から在宅での緩和ケアへ円滑に移行できるよう関係機関で患者情報を共有し、連携の強化を行った。 ・ 平成 29 年 4 月から常勤医 1 名に加え、新たに非常勤医師 1 名を採用したことにより、病床利用率が 50%を超え、入院患者数も増加した。 【緩和ケア勉強会等開催状況】 単位：回	PMI※	54	64	52	I CD※	16	12	18	項目＼年度	H27	H28	H29	パス運用（単位：件）	117	92	65	登録医師数（単位：人）	72	74	73	病床＼年度	H27	H28	H29	結核、感染症	3, 072	3, 361	2, 957	精神科	6, 937	6, 220	5, 900		
PMI※	54	64	52																																					
I CD※	16	12	18																																					
項目＼年度	H27	H28	H29																																					
パス運用（単位：件）	117	92	65																																					
登録医師数（単位：人）	72	74	73																																					
病床＼年度	H27	H28	H29																																					
結核、感染症	3, 072	3, 361	2, 957																																					
精神科	6, 937	6, 220	5, 900																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由																				
			<table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>緩和ケア勉強会</td><td>8</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>緩和ケア研修会</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>緩和ケア講演会</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td></tr><tr><td>緩和ケア市民公開講座</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	緩和ケア勉強会	8	6	6	緩和ケア研修会	2	1	1	緩和ケア講演会	2	2	0	緩和ケア市民公開講座	1	1	1					
区分\年度	H27	H28	H29																									
緩和ケア勉強会	8	6	6																									
緩和ケア研修会	2	1	1																									
緩和ケア講演会	2	2	0																									
緩和ケア市民公開講座	1	1	1																									
			【緩和ケアの患者動向】 単位：人																									
			<table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>入院患者数</td><td>3,227</td><td>3,237</td><td>4,011</td></tr><tr><td>外来患者数</td><td>125</td><td>129</td><td>143</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	入院患者数	3,227	3,237	4,011	外来患者数	125	129	143													
区分\年度	H27	H28	H29																									
入院患者数	3,227	3,237	4,011																									
外来患者数	125	129	143																									

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。 ※ 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び東濃地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。 ※ 診療情報等の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由								
06	※ 調査及び臨床研究等の推進 1 臨床研究及び治験の推進		1 臨床研究及び治験の推進 ・ 治験施設支援機関の支援により、治験参加の有益性の啓発・啓蒙に努め、受託件数の増加を図ったが、新規の受託には至らなかった。 ・ 臨床共同研究については、関連大学等からの依頼に積極的に応じた。 【臨床研究及び治験件数】単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>治験実施件数</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	治験実施件数	0	1	1	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
区分\年度	H27	H28	H29										
治験実施件数	0	1	1										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由																																																					
			臨床共同研究件数	18	21	40																																																							
07	※ 診療情報等の活用 1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用		1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 ・ 日本病院会、自治体病院協議会のQ I 事業に参加し、そのベンチマーク結果を医療の質向上委員会に報告し、関係部署にフィードバックを行い医療の質向上を図った。 ・ 外部委託によるデータ分析及び検証により、施設比較・課題の抽出を実施し診療報酬委員会での報告と、対策・提案等について院内研修会を開催し改善に努めた結果、DPC係数、診療密度、看護必要度向上など、経営向上、医療の質向上に成果が得られた。 【看護必要度】 単位：％ <table><tr><th>項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28※</th><th>H29</th></tr><tr><td>当院値</td><td>19.8</td><td>27.6</td><td>29.0</td></tr><tr><td>7 対 1 施設基準</td><td>15.0</td><td>25.0</td><td>25.0</td></tr></table> ※平成 28 年度の改定時に評価項目の大幅な変更あり（値も大きく変動） 【診療密度】 <table><tr><th>項目＼改定年度</th><th>H26</th><th>H28</th><th>H30</th></tr><tr><td>当院値</td><td>2381.11</td><td>2416.98</td><td>2386.25</td></tr><tr><td>Ⅱ群基準値</td><td>2482.09</td><td>2513.24</td><td>2413.38</td></tr><tr><td>対基準値（％）</td><td>95.93</td><td>96.17</td><td>98.88</td></tr></table> 【DPC係数】 <table><tr><th>項目＼年月</th><th>H27. 4</th><th>H28. 4 ※</th><th>H29. 4</th><th>H30. 4 ※</th></tr><tr><td>基礎係数</td><td>1.0276</td><td>1.0296</td><td>1.0296</td><td>1.0314</td></tr><tr><td>暫定調整係数</td><td>0.0432</td><td>0.0224</td><td>0.0224</td><td>0.0000</td></tr><tr><td>機能評価係数Ⅱ</td><td>0.0643</td><td>0.0758</td><td>0.0762</td><td>0.1295</td></tr><tr><td>計</td><td>1.1351</td><td>1.1278</td><td>1.1282</td><td>1.1609</td></tr></table> ※改定年				項目＼年度	H27	H28※	H29	当院値	19.8	27.6	29.0	7 対 1 施設基準	15.0	25.0	25.0	項目＼改定年度	H26	H28	H30	当院値	2381.11	2416.98	2386.25	Ⅱ群基準値	2482.09	2513.24	2413.38	対基準値（％）	95.93	96.17	98.88	項目＼年月	H27. 4	H28. 4 ※	H29. 4	H30. 4 ※	基礎係数	1.0276	1.0296	1.0296	1.0314	暫定調整係数	0.0432	0.0224	0.0224	0.0000	機能評価係数Ⅱ	0.0643	0.0758	0.0762	0.1295	計	1.1351	1.1278	1.1282	1.1609	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
項目＼年度	H27	H28※	H29																																																										
当院値	19.8	27.6	29.0																																																										
7 対 1 施設基準	15.0	25.0	25.0																																																										
項目＼改定年度	H26	H28	H30																																																										
当院値	2381.11	2416.98	2386.25																																																										
Ⅱ群基準値	2482.09	2513.24	2413.38																																																										
対基準値（％）	95.93	96.17	98.88																																																										
項目＼年月	H27. 4	H28. 4 ※	H29. 4	H30. 4 ※																																																									
基礎係数	1.0276	1.0296	1.0296	1.0314																																																									
暫定調整係数	0.0432	0.0224	0.0224	0.0000																																																									
機能評価係数Ⅱ	0.0643	0.0758	0.0762	0.1295																																																									
計	1.1351	1.1278	1.1282	1.1609																																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由						
			2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 - 日本病院会「Q I プロジェクト」、全国自治体病院協議会「医療の質の評価・公表等推進事業」に参加し、経営管理指標、患者満足度、連携先満足度や褥瘡発生率など全 4 3 項目のC I、Q I データについて分析をするとともに、年報やホームページ上で公開した。また、その分析結果を医療の質向上委員会で報告、検討し、PDCAサイクルに基づいた医療の質向上に努めた。 - がん登録事業について、国立がんセンターなどが開催する研修会への積極的な参加、「がん登録システム」の新規導入によりデータ精度の向上、登録件数の増加に努めた。また、循環器疾患等に係る事業にも参加協力するとともに日本病院会 Q I 事業にも継続参加した。フィードバックされた情報を院内の関係委員会やカンファレンス等で共有し、医療の質向上に努めた。 【Q I 指標項目数】 単位：個 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>24</td><td>43</td><td>43</td></tr></table>	H27	H28	H29	24	43	43		
H27	H28	H29									
24	43	43									

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。 ※ 医師の卒後臨床研修等の充実 研修医等の研修施設として認められた病院(臨床研修病院)として、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の積極的な受入れを行うこと。 名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、岐阜大学医学部附属病院、岐阜県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を生かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。 ※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
08	※ 医師の卒後臨床研修等の充実 1 質の高い医療従事者の養成 2 後期研修医に対する研修等		1 質の高い医療従事者の養成 - 最新の医療技術や知識習得のため、学会や講習会への参加に必要な経費を負担するなどの支援を行った。 - 管理的業務に従事する医師、看護師等を対象とした管理職員マネジメント研修を開催し、マネジメントや人材育成に関するスキルアップを図った。 - 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による勉強会として、総合診療教育カンファレンスを開催した。(計8回実施) - 卒後臨床研修評価機構の更新審査に向けて、協力型臨床研修病院に名古屋大学医学部附属病院麻酔科を臨床研修プログラムに追加するとともに、平成30年度からの臨床研修プログラムに地域医療研修病院として沖縄県ちゅうざん病院を追加した。 - 平成30年1月29日の卒後臨床研修評価機構の訪問審査にて、機構の定める認定基準に達成していることが認められ、認定証の発行を受けた。評価結果は「認定(4年)」となった。 (中項目27項目中「要改善」の項目が20%未満であったため、訪問調査は4年後、更新書面調査は2年後。) - 研修医を対象とした内科症例検討会(月1回)、各診療科部長による実践的な講義(毎月2診療科)、早朝勉強会(月1回)を開催した。 【医師の研修派遣実績人数】 単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>派遣</td><td>453</td><td>424</td><td>409</td></tr></table> 【職員を対象とした外部講師開催実績】 単位：人 <table><tr><th>開催日</th><th>講演会等名</th><th>講師</th><th>参加者</th></tr><tr><td>H29. 7. 11 H29. 7. 31</td><td>部長級(医師)向け 診療科マネジメント研修</td><td>(株)アクリート・ワークス 守屋 文貴 氏</td><td>39</td></tr><tr><td>H29. 8. 3</td><td>平成29年度 第1回医療安全講演会</td><td>静岡英和学院大学短期大学部 准教授 重森 雅嘉 氏</td><td>778</td></tr><tr><td>H29. 9. 22 H29. 9. 27</td><td>看護師長向け 対応が難しいスタッフへの管理・教育的支援</td><td>e-nus 川上 ちひろ 氏</td><td>24</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	派遣	453	424	409	開催日	講演会等名	講師	参加者	H29. 7. 11 H29. 7. 31	部長級(医師)向け 診療科マネジメント研修	(株)アクリート・ワークス 守屋 文貴 氏	39	H29. 8. 3	平成29年度 第1回医療安全講演会	静岡英和学院大学短期大学部 准教授 重森 雅嘉 氏	778	H29. 9. 22 H29. 9. 27	看護師長向け 対応が難しいスタッフへの管理・教育的支援	e-nus 川上 ちひろ 氏	24	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
区分\年度	H27	H28	H29																										
派遣	453	424	409																										
開催日	講演会等名	講師	参加者																										
H29. 7. 11 H29. 7. 31	部長級(医師)向け 診療科マネジメント研修	(株)アクリート・ワークス 守屋 文貴 氏	39																										
H29. 8. 3	平成29年度 第1回医療安全講演会	静岡英和学院大学短期大学部 准教授 重森 雅嘉 氏	778																										
H29. 9. 22 H29. 9. 27	看護師長向け 対応が難しいスタッフへの管理・教育的支援	e-nus 川上 ちひろ 氏	24																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由																								
			<table><tr><td>H29. 10. 19</td><td>看護師長向け イキイキと働ける職場をつくる 看護マネジメント</td><td>テキックス(株) 石田 秀朗 氏</td><td>25</td></tr><tr><td>H30. 1. 23</td><td>平成29年度 第2回感染対策 講演会</td><td>岐阜県総合医療 センター 感染対策部長 鈴木 純 氏</td><td>1006</td></tr><tr><td>H30. 1. 24</td><td>管理職向け 組 織開発リーダーシ ップ基礎講座</td><td>LLC チーム経営 嶋田 至 氏</td><td>28</td></tr><tr><td>H30. 2. 21 H30. 2. 27</td><td>チーフ級向け 管理職・リーダ ー研修</td><td>(株)アドプランナ ー 五十嵐 政信 氏</td><td>32</td></tr></table>	H29. 10. 19	看護師長向け イキイキと働ける職場をつくる 看護マネジメント	テキックス(株) 石田 秀朗 氏	25	H30. 1. 23	平成29年度 第2回感染対策 講演会	岐阜県総合医療 センター 感染対策部長 鈴木 純 氏	1006	H30. 1. 24	管理職向け 組 織開発リーダーシ ップ基礎講座	LLC チーム経営 嶋田 至 氏	28	H30. 2. 21 H30. 2. 27	チーフ級向け 管理職・リーダ ー研修	(株)アドプランナ ー 五十嵐 政信 氏	32													
H29. 10. 19	看護師長向け イキイキと働ける職場をつくる 看護マネジメント	テキックス(株) 石田 秀朗 氏	25																													
H30. 1. 23	平成29年度 第2回感染対策 講演会	岐阜県総合医療 センター 感染対策部長 鈴木 純 氏	1006																													
H30. 1. 24	管理職向け 組 織開発リーダーシ ップ基礎講座	LLC チーム経営 嶋田 至 氏	28																													
H30. 2. 21 H30. 2. 27	チーフ級向け 管理職・リーダ ー研修	(株)アドプランナ ー 五十嵐 政信 氏	32																													
【研修医を対象とした外部講師開催実績】 単位：人 <table><tr><th>講演会等名</th><th>回数</th><th>講師</th><th>参加者</th></tr><tr><td>JPTEC（病院前外傷 教育プログラム）</td><td>1</td><td>一般社団法人 JPTEC 協議会 山田 常晶 氏ほか</td><td>11</td></tr><tr><td>総合診療教育カン ファレンス</td><td>8</td><td>名古屋大学医学部 附属病院 総合診療科 松久 貴晴 氏</td><td>延べ138</td></tr></table> 【初期臨床研修医数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>医師</td><td>18</td><td>21</td><td>21</td></tr><tr><td>歯科医師</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr></table> 2 後期研修医に対する研修等 ・ 内科領域及び外科領域にかかる専門研修プログラムの基幹施設として専攻医を募集し、内科領域で5名、外科領域で1名の応募があり、専門研修プログラム管理委員会において、全員を専攻医として採用することを決定した。									講演会等名	回数	講師	参加者	JPTEC（病院前外傷 教育プログラム）	1	一般社団法人 JPTEC 協議会 山田 常晶 氏ほか	11	総合診療教育カン ファレンス	8	名古屋大学医学部 附属病院 総合診療科 松久 貴晴 氏	延べ138	区分\年度	H27	H28	H29	医師	18	21	21	歯科医師	2	2	2
講演会等名	回数	講師	参加者																													
JPTEC（病院前外傷 教育プログラム）	1	一般社団法人 JPTEC 協議会 山田 常晶 氏ほか	11																													
総合診療教育カン ファレンス	8	名古屋大学医学部 附属病院 総合診療科 松久 貴晴 氏	延べ138																													
区分\年度	H27	H28	H29																													
医師	18	21	21																													
歯科医師	2	2	2																													

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																						
			- 平成 30 年 4 月からの新専門医制度開始に向けて、専門研修プログラムにかかる専門研修医マニュアル及び指導医マニュアルの内容を確認し、日本専門医機構に申請を行った。 - 上矢作病院勤務の医師を、平成 28 年度に引き続き後期研修医として週 1 回受け入れて研修指導をした。 【後期研修医（レジデント）数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>医師</td><td>11</td><td>13</td><td>19</td></tr><tr><td>歯科医師</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	医師	11	13	19	歯科医師	1	1	1																												
区分\年度	H27	H28	H29																																								
医師	11	13	19																																								
歯科医師	1	1	1																																								
09	※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ 2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実		1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ - 医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から実習生や見学生を受け入れた。また、看護学生やコメディカルは専門学校や大学からの実習を積極的に受け入れた。ガイダンス等への参加によるPR効果により実習、見学とも受け入れ者数が増加した。 【学生の実習受入れ状況】 単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>医学生</td><td>32</td><td>16</td><td>22</td></tr><tr><td>看護学生</td><td>541</td><td>380</td><td>458</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>51</td><td>57</td><td>59</td></tr><tr><td>合 計</td><td>624</td><td>453</td><td>539</td></tr></table> 【医学生の見学受入れ状況】 単位：人 <table><tr><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>32</td><td>67</td><td>92</td></tr></table> 2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 - 救命救急士の生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的実施し、医療技術の向上を図った。 【救急救命士の研修実績状況】 単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>生涯教育実習</td><td>64</td><td>33</td><td>54</td></tr><tr><td>就業前実習</td><td>8</td><td>8</td><td>4</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	医学生	32	16	22	看護学生	541	380	458	コメディカル	51	57	59	合 計	624	453	539	H27	H28	H29	32	67	92	区分\年度	H27	H28	H29	生涯教育実習	64	33	54	就業前実習	8	8	4	Ⅲ	継続的な取組が実施でき ており、実習生や医学生 の見学受け入れは増加し ているが、項目全体とし ては平年並みの実績と評 価
区分\年度	H27	H28	H29																																								
医学生	32	16	22																																								
看護学生	541	380	458																																								
コメディカル	51	57	59																																								
合 計	624	453	539																																								
H27	H28	H29																																									
32	67	92																																									
区分\年度	H27	H28	H29																																								
生涯教育実習	64	33	54																																								
就業前実習	8	8	4																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由												
			<table><tr><td>気管挿管実習</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td></tr><tr><td>薬剤投与実習</td><td>0</td><td>6</td><td>1</td></tr><tr><td>合 計</td><td>73</td><td>49</td><td>63</td></tr></table>				気管挿管実習	1	2	4	薬剤投与実習	0	6	1	合 計	73	49	63		
気管挿管実習	1	2	4																	
薬剤投与実習	0	6	1																	
合 計	73	49	63																	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。 ※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を積極的に行うこと。 ※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。 ※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
10	※ 地域医療への支援 1 地域医療水準の向上 2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援		1 地域医療水準の向上 - 年4回開催した地域医療連携推進協議会を通じ、医師会長をはじめとする関係者に医療連携の推進、高度医療機器、開放型病床の利用促進を図った。 - 各種講演会（医療安全、感染対策等）、勉強会、症例検討会、医療連携交流会（新規事業）の開催、東濃医学会学術集会における演題発表により地域医療水準の向上に努めた。 - 東濃、可児地域の8病院で組織された東濃・可児地域病連携推進会議（年2回開催）を通じ、病院間で協力、提携した診療を模索し、それぞれの医療資源を有効活用したより良い診療環境の提供について検討を行った。また県主導で地域医療構想が進められる中、各病院の機能について、今後の方向性等について意見交換を行った。	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																				
			2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援 ・ 国民健康保険上矢作病院、中津川市民病院、土岐市立総合病院へ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。 ・ 岐阜県へき地医療支援機構からの要請に基づき、小児科医師 1 名を揖斐川町坂内国民健康保険診療所へ派遣した。 <table><tr><th>派遣医療機関</th><th>派遣状況</th></tr><tr><td>国民健康保険上矢作病院</td><td>週 1 日 (当直業務) 1 人 (6 人で交代) 延べ 5 1 人 研修医を 5 ヶ月 (延べ 5 人)</td></tr><tr><td>中津川市民病院</td><td>脳神経外科 4 月～翌 3 月 毎週木曜日 1 人 (2 人で隔週交代) 延べ 4 9 人</td></tr><tr><td>土岐市立総合病院</td><td>循環器内科 4 月～翌 3 月 毎週木曜日 1 人 (6 人で隔週交代) 延べ 4 9 人</td></tr><tr><td>揖斐川町坂内国民健康保険診療所</td><td>小児科 1 人 (H29. 7. 28)</td></tr></table>	派遣医療機関	派遣状況	国民健康保険上矢作病院	週 1 日 (当直業務) 1 人 (6 人で交代) 延べ 5 1 人 研修医を 5 ヶ月 (延べ 5 人)	中津川市民病院	脳神経外科 4 月～翌 3 月 毎週木曜日 1 人 (2 人で隔週交代) 延べ 4 9 人	土岐市立総合病院	循環器内科 4 月～翌 3 月 毎週木曜日 1 人 (6 人で隔週交代) 延べ 4 9 人	揖斐川町坂内国民健康保険診療所	小児科 1 人 (H29. 7. 28)												
派遣医療機関	派遣状況																								
国民健康保険上矢作病院	週 1 日 (当直業務) 1 人 (6 人で交代) 延べ 5 1 人 研修医を 5 ヶ月 (延べ 5 人)																								
中津川市民病院	脳神経外科 4 月～翌 3 月 毎週木曜日 1 人 (2 人で隔週交代) 延べ 4 9 人																								
土岐市立総合病院	循環器内科 4 月～翌 3 月 毎週木曜日 1 人 (6 人で隔週交代) 延べ 4 9 人																								
揖斐川町坂内国民健康保険診療所	小児科 1 人 (H29. 7. 28)																								
11	※ 社会的な要請への協力	・ 医療系専門学校、大学、企業、地域、近隣の病院や施設等の要請に応じ、医師、認定看護師や専門看護師、コメディカルを講師として派遣した。また、医療に関する鑑定調査 (精神医療審査会、警察の死体検案等)、地域イベント (陶器まつり、茶碗まつりの救護班) に協力した。 ・ 臓器移植法に基づき県内初の十五歳未満の患者に対する臓器摘出手術を実施した。 【講師等派遣の状況】 単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>医師</td><td>171</td><td>188</td><td>222</td></tr><tr><td>看護師</td><td>32</td><td>33</td><td>64</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>23</td><td>18</td><td>32</td></tr><tr><td>合 計</td><td>226</td><td>239</td><td>318</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	医師	171	188	222	看護師	32	33	64	コメディカル	23	18	32	合 計	226	239	318		IV	延派遣人数が前年比＋79人(33%増)と各種要請に対応できていると評価
区分\年度	H27	H28	H29																						
医師	171	188	222																						
看護師	32	33	64																						
コメディカル	23	18	32																						
合 計	226	239	318																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由															
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供	2 保健医療、健康管理等の情報提供 ・ 年2回の病院広報誌「けんぴょういん」の発行、地域情報誌等やホームページを活用した広報活動等により、医療に関する情報を積極的に発信した。 ・ 病院広報誌「けんぴょういん」については、職員、ボランティア、来院患者の意見を踏まえて、写真やイラストを多用した親しみやすいデザインへ一新した。 ・ 新たに医療連携交流会（講演会及び開業医と当院医師の意見交換会）を企画・開催した。【再掲：No.03】	1 公開講座、医療相談会等の開催 ・ 市民公開講座・緩和ケア市民公開講座や、医師、看護師等による健康づくり講座等を行った。特に健康づくり講座については、過去最多の20回と精力的に開催し、保健医療情報の発信、医療連携の推進に努めた。 【市民を対象とした公開講座、医療相談等開催実績】 単位：人 <table><tr><th>開催日</th><th>公開講座等名</th><th>参加者</th></tr><tr><td>H29. 9. 9</td><td>緩和ケア市民公開講座 「わたしのまちの在宅医療」 講師：浜田・浅井医院 理事長 浜田茂彰 氏 他</td><td>359</td></tr><tr><td>H29. 11. 5</td><td>市民公開講座 「生活習慣病を理解して護ろう健康！」 講師：三重大学医学部附属病院 院長 伊藤正明 氏</td><td>122</td></tr><tr><td>H29. 11. 5</td><td>秋まつり ブースにて内視鏡手術体験などを 実施</td><td>698</td></tr><tr><td>年 20 回</td><td>健康づくり講座 「動脈硬化とうまく付き合っ て健康寿命を延ばしましょう」他</td><td>456</td></tr></table>	開催日	公開講座等名	参加者	H29. 9. 9	緩和ケア市民公開講座 「わたしのまちの在宅医療」 講師：浜田・浅井医院 理事長 浜田茂彰 氏 他	359	H29. 11. 5	市民公開講座 「生活習慣病を理解して護ろう健康！」 講師：三重大学医学部附属病院 院長 伊藤正明 氏	122	H29. 11. 5	秋まつり ブースにて内視鏡手術体験などを 実施	698	年 20 回	健康づくり講座 「動脈硬化とうまく付き合っ て健康寿命を延ばしましょう」他	456	Ⅲ	病院広報誌の刷新は評価できるが、項目全体としては平年並みの実績と評価
開催日	公開講座等名	参加者																		
H29. 9. 9	緩和ケア市民公開講座 「わたしのまちの在宅医療」 講師：浜田・浅井医院 理事長 浜田茂彰 氏 他	359																		
H29. 11. 5	市民公開講座 「生活習慣病を理解して護ろう健康！」 講師：三重大学医学部附属病院 院長 伊藤正明 氏	122																		
H29. 11. 5	秋まつり ブースにて内視鏡手術体験などを 実施	698																		
年 20 回	健康づくり講座 「動脈硬化とうまく付き合っ て健康寿命を延ばしましょう」他	456																		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1-5 災害等発生時における医療救護	災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。
	※ 医療救護活動の拠点機能の充実	災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは東濃地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるよう、医療物資(医薬品、診療材料、給食材料など)の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。
	※ 他県等の医療救護への協力	県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づきDMATを派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。
	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画の作成及び訓練等を実施すること。
	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入れ、重症症例の治療等を行うこと。 感染症指定医療機関として、平時から患者を受け入れられる体制を整備するとともに、東濃地域の医療機関に対して医療情報の提供など指導的役割を担うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由											
13	※ 医療救護活動の拠点機能の充 実 1 医療救護活動の拠点機能の充 実 2 災害拠点病院としての機能強 化及び指導的役割の推進		1 医療救護活動の拠点機能の充実 ・ 大規模災害を想定した災害実働訓練や、夜間などを想定した消防訓練を実施して機能を検証した。 ・ 救急医療体制、災害医療体制、感染症患者受入態勢を維持するため、必要な施設設備の維持管理を行った。 【災害訓練の実績】 <table><thead><tr><th></th><th>開催日</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>災害実働訓練</td><td>H29. 11. 30</td><td>震度 6 強の直下型地震を想定したトリアージ訓練</td></tr><tr><td rowspan="2">消防訓練</td><td>H29. 7. 26</td><td>夜間想定（西病棟 3 階で出火）</td></tr><tr><td>H30. 2. 28</td><td>昼間想定（中病棟 8 階で出火）</td></tr></tbody></table> 2 災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進 ・ 災害拠点病院として、関係機関と連携して災害実働訓練を実施した。 ・ 災害時に活用する備品（インカムトランシーバー、ヘルメット、ランタン、誘導棒、トリアージタグ等）を整備した。 ・ 有線、無線の 2 系統を有する新たな岐阜県防災通信システムの更新整備に協力し、行政、消防、災害拠点病院間の連絡体制が充実した。		開催日	備考	災害実働訓練	H29. 11. 30	震度 6 強の直下型地震を想定したトリアージ訓練	消防訓練	H29. 7. 26	夜間想定（西病棟 3 階で出火）	H30. 2. 28	昼間想定（中病棟 8 階で出火）	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
	開催日	備考														
災害実働訓練	H29. 11. 30	震度 6 強の直下型地震を想定したトリアージ訓練														
消防訓練	H29. 7. 26	夜間想定（西病棟 3 階で出火）														
	H30. 2. 28	昼間想定（中病棟 8 階で出火）														

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
14	※ 他県等の医療救護への協力 1 DMATの質の向上と維持 2 大規模災害発生時のDMATの派遣		1 DMATの質の向上と維持 ・ 国(厚生労働省)、中部地区、県などが関係する訓練に積極的に参加し、質の維持と向上を図った。 【主なDMAT活動訓練等実績】 単位：人 <table><tr><th>実施期間</th><th>訓練内容</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>H29. 7. 29</td><td>大規模地震時医療活動訓練</td><td>9</td></tr><tr><td>H29. 10. 8～ H29. 10. 9</td><td>中部ブロックDMAT実働訓練</td><td>9</td></tr><tr><td>H29. 11. 18</td><td>緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練</td><td>4</td></tr></table> 2 大規模災害発生時のDMATの派遣 ・ DMATについては、2チームを編成し、災害派遣精神医療チーム(DPAT: Disaster Psychiatric Assistance Team)については、医師2名を指定するとともに1チームを編成して応援体制を維持した。	実施期間	訓練内容	参加人数	H29. 7. 29	大規模地震時医療活動訓練	9	H29. 10. 8～ H29. 10. 9	中部ブロックDMAT実働訓練	9	H29. 11. 18	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練	4	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
実施期間	訓練内容	参加人数															
H29. 7. 29	大規模地震時医療活動訓練	9															
H29. 10. 8～ H29. 10. 9	中部ブロックDMAT実働訓練	9															
H29. 11. 18	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練	4															
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立 1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 2 診療情報のバックアップシステムの構築		1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 ・ 県が岐阜県通総研に事業委託し設立した岐阜県BCP研修・訓練センターの「個別コンサルティングによるBCP策定支援標準プログラム(全5回)」を活用し、災害発生時の対応をまとめたミッションシートの作成に取り組んだ。院内7部署でミッションシートを完成させることができた。平成30年度は病院全体でのミッションシートの作成とBCPの初版策定を目指す。 2 診療情報のバックアップシステムの構築 ・ 大規模災害発生時に備え、医療現場において専用端末のみで患者情報が得られるよう、SS-MIXの情報が閲覧できるシステムを構築し、各部署へ端末を配備した。	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価												
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備		1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・ 業務計画等に基づき、必要な資材の備蓄等の見直しや実地訓練、関係病棟スタッフの勉強会を実施し、受け入れ体制を維持した。	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価												

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由						
	2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮		2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 ・ 東濃保健所と連携し、模擬患者の受け入れから入院までの実地訓練を実施した。 <table><tr><th>実施日</th><th>対象者</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>H29. 11. 29</td><td>県立多治見病院職員、保健所職員、見学希望者</td><td>実地訓練：53 名 研修参加：56 名</td></tr></table> 【参加者】 多治見市民病院、東濃厚生病院、土岐市立総合病院、市立恵那病院、中津川市民病院、国民健康保険上矢作病院の医師・看護師 多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市の消防本部 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮 ・ 東濃保健所と連携し、「平成 29 年度東濃地域新型インフルエンザ等対策会議」を当院で開催した。受入れ体制等について意見交換を行った。同時に行われた実地訓練（模擬患者の受け入れから入院まで）に参加した。訓練後、病棟勉強会にて振り返りを行い、訓練内容の検証、関係スタッフとの情報共有を行った。	実施日	対象者	参加人数	H29. 11. 29	県立多治見病院職員、保健所職員、見学希望者	実地訓練：53 名 研修参加：56 名		
実施日	対象者	参加人数									
H29. 11. 29	県立多治見病院職員、保健所職員、見学希望者	実地訓練：53 名 研修参加：56 名									

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立	自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 効果的な組織体制の確立	医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ITの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。 危機管理事案等発生時における情報共有体制を確立すること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用	医療需要の変化に迅速に対応するため、診療科の変更や医師、看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 人事評価システムの構築	職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験、勤務実績等を反映させた新たな公平で客観的な人事評価制度の構築を図ること。
	※ 事務部門の専門性の向上	事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保し、及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底	職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理	業務の情報化に対応して、情報セキュリティ対策に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
17	※ 効果的な組織体制の確立 1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 2 各種業務のIT化の推進 3 アウトソーシング導入などによる合理化 4 経営効率の高い業務執行体制の確立 5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立	3 アウトソーシング導入などによる合理化 ・ 患者給食業務委託において、食材購入を含めた単価契約方式を導入したことにより、管理栄養士の食材管理に関する業務負担が軽減し、栄養管理及び栄養指導業務を充実させることができた。特に栄養管理は介入件数が倍増した。 栄養管理件数(28年度:1,044件 29年度:2,140件) 栄養指導件数(28年度:5,164件 29年度:5,113件) ・ 人事給与システム保守点検業務委託、患者給食業務委託を委託業務評価の対象とし、業務が契約内容に基づき適切に実施されているかを検証し、改善や意識向上を図った。 ※平成27年度に委託業務評価に関する実施要領を制定し、業務委託契約の内容を点検、評価している。各委託業者自己評価に基づき内容を検証し、次年度以降の改善・向上に寄与している。	1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 ・ 管理課と企画財務課の業務見直しにより用度システム管理室、施設整備課、企画財務課に改編し、事務局の組織・業務体制の見直しを行った。 ※ 平成30年度に用度システム管理室、施設整備課、企画財務課を管理課、新棟整備室、企画財務室に改編 ・ 医療情報システム開発部、感染管理部の新設、医療相談室と医療連携室を統合して医療連携相談課へ改編した。 2 各種業務のIT化の推進 ・ Microsoft Officeや携帯情報端末などのIT研修会を年7回実施し、職員のスキルアップを促進した。 ・ スマートPDA(看護業務支援携帯端末)にカメラ機能を追加し、撮影画像を医療総合情報システム(電子カルテ)へ転送できるよう看護師の業務軽減を行った。	III	食材管理を含めて患者給食業務を外部委託したことにより、管理栄養士が栄養管理・栄養指導業務に専念できる環境を整えることができ、効果が得られたが、項目全体としては平年並みの実績と評価

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			- 医療総合情報システム（電子カルテ）については、稼働後 14 年間で計画期間として再構築することとし、電子カルテ本体の更新とともに各部門システムを包括した設計を行った。平成 30 年 2 月には、提案型プロポーザルにより更新契約の業者を選定し、平成 30 年度中のシステム構築、平成 31 年 5 月の本格稼働に向け、計画的に準備を進めた。【再掲：No.01】 4 経営効率の高い業務執行体制の確立 - 契約業務の適正化、及び改善・向上対策を図るため、医療コンサルタントを活用した。また、委託業務評価を行い、その評価結果に基づき契約内容を検証し、必要に応じて改善及び向上を図った。 5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立 - 訓練に併せて配信試験を 2 回実施したほか、職員への情報伝達をより確実にするため、重層的な連絡システムの導入の検討を進めた。		
18	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 1 弾力的運用の実施 2 効果的な体制による医療の提供 3 3 法人間の人事交流による適正な職員配置	1 弾力的運用の実施 - 血液浄化センターの本格稼働にともない、看護師等を必要数配置し、関係部門との連携を強化したことにより透析導入期の患者や維持透析が必要な紹介患者の円滑な受け入れが可能となった。 - 定年退職後、再雇用した放射線技師 2 名のうち 1 名を医療連携業務に従事させ、そのキャリアを生かして地域の開業医との連携強化や住民を対象とした健康づくり講座の充実を図った。 - 医療連携相談課医療連携担当に看護師 1 名を配置し、連携予約体制の強化を図った。 - 看護師の業務負担軽減のため、介護福祉士 14 名とヘルパー 5 名を採用し、病棟に配属した。【再掲：No.03】 - 精神保健福祉士 1 名を平成 30 年 2 月 1 日から精神科病棟に配属した。【再掲：No.05】	2 効果的な体制による医療の提供 - 医師事務作業補助者については、43 名の人員を確保し、医師事務補助体制 15 対 1 を継続して充足することができた。電子カルテの操作訓練や書類作成演習等、実務に即した研修を積極的に実施し、個人の資質向上による質の高い医療の提供を目指した。 【研修の実施】 ① 日本医師事務作業補助研究会への参加（7 人） 学習した内容は、資料の回覧や医師クラークミーティングでの発表により、全員にフィードバック ② 院内研修会の開催（17 回） ③ 新規採用者に 35 時間の研修を実施	Ⅲ	血液浄化センター稼働に伴う柔軟な職員配置、介護福祉士等の採用による病棟看護師の負担軽減等、一定の成果は得られたが、項目全体としては、平年並みと評価

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			3 3 法人間の人事交流による適正な職員配置 ・ 医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流実績はなかった。		
19	※ 人事評価システムの構築	・ 病院全体の重点項目及び数値目標に対し、職員個人・部門組織等で目標を設定し、その貢献度により手当を支給する業務貢献手当を新設した。 ・ 業務貢献手当の支給決定には、人事評価の仕組みを活用する等、人事評価結果と業務貢献手当支給を関連付けし、職員個人・部門組織等の業務目標に対する達成意欲の向上を促し、病院全体の重点項目及び数値目標の達成を実現できる仕組みを整えた。		IV	個人の目標達成が、病院全体の重点項目・数値目標に直結する仕組みが整備され、進捗したと評価
20	※ 事務部門の専門性の向上	・ 事務部門の専門・階層別研修に関する方針・計画を作成し、外部講師等を活用した研修を実施し、職員の資質向上を図った。また平成 29 年度から新たに階層別マネジメント研修として、管理職員及びチーフ級職員を対象とした研修を実施した。 ・ 民間経験者特別研修、会計実務研修を実施した。 ・ 新任の主査チーフが、中堅職員向けの公開講座に参加した。 【新規採用職員の主な研修】 ①マナー・コミュニケーション研修 ②ワークショップ研修～配属からこれまでに振り返って 【階層別マネジメント研修】 ＜管理職員及びチーフ級職員＞ 対象者数：30 人（うち事務職員 10 人） 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：全員の知恵と力を合わせるリーダーシップを考える ＜チーフ級職員＞ 対象者数：34 人（うち事務職員 11 人） 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：タイプ別コミュニケーション、メンバー育成ほか 【民間経験者特別研修】 対象者数：6 人 内 容：個人及びグループワーク テ ー マ：入職後から現在までの振り返り、今後のキャリア		IV	階層別マネジメント研修の導入など、事務部門の専門性の向上に関する取組を評価

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由						
		デザイン 【会計実務研修】 対象者数：17 人 内 容：講義 テ ー マ：会計書類作成の流れや注意点 【公開講座】 〈新任の主査チーフ〉 対象者数：2 人 テ ー マ：中堅職員研修～管理職を補佐し、部の成果を出す！									
21	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底		・ 監事監査や内部監査による確認指導に加え、新規採用職員に対するコンプライアンス研修を実施し、当院の職員としての意識啓発及び周知徹底を行った。 【コンプライアンス研修開催実績】 単位：人 <table><tr><th>開催期間</th><th>講師・開催回数</th><th>参加者</th></tr><tr><td>H29.4 ～ H30.3</td><td>講師：事務局長及び 人事給与担当職員 開催回数：12 回</td><td>91</td></tr></table>	開催期間	講師・開催回数	参加者	H29.4 ～ H30.3	講師：事務局長及び 人事給与担当職員 開催回数：12 回	91	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
開催期間	講師・開催回数	参加者									
H29.4 ～ H30.3	講師：事務局長及び 人事給与担当職員 開催回数：12 回	91									
22	※ 適切な情報管理		・ 職員等に対する情報セキュリティ研修や、情報セキュリティチェック(チェックシートによる自己確認)を実施した。 ・ ネットワークに接続する関連システム(NetSkateKoban)サーバーの更新、電子カルテ端末管理システム(SkySea)のプログラムを最新版にアップグレードする等により、不正接続や端末管理の監視体制を強化した。	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価						

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。
	※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。
	※ 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。
	さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。
	※ 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																			
23	※ 多様な契約手法の導入		- 医療機器の保守点検業務委託について、複数の機器の包括契約や複数年契約により経費の節減を図った。 - 警備業務、清掃業務、新中央診療棟整備包括支援業務、新中央診療棟等基本設計・実施設計業務については、プロポーザル方式による業者選定を実施し、複数年契約を締結した。	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価																																																																			
24	※ 収入の確保 1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進 2 未収金の発生防止対策等 3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応	1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進 DPCデータを基にした分析システムを活用し、病院の現状を明確化することにより診療報酬に直接関係のあるDPC機能評価係数を上げることができ、経営向上、医療の質向上を図った。 ※ DPC機能評価係数Ⅱ H27 年度係数 0.0643 H28 年度係数 0.0758 H29 年度係数 0.0762 【病床管理状況】 <table><thead><tr><th colspan="2">項目＼年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="2">新規入院患者（単位：人）</td><td>13,984</td><td>13,886</td><td>14,498</td></tr><tr><td colspan="2">延入院患者（単位：人）</td><td>171,656</td><td>172,398</td><td>176,770</td></tr><tr><td rowspan="2">平均在院日数 （単位：日）</td><td>全体</td><td>11.3</td><td>11.4</td><td>11.2</td></tr><tr><td>一般</td><td>10.6</td><td>10.8</td><td>10.6</td></tr><tr><td rowspan="2">一人当たり 入院単価 （単位：円）</td><td>全体</td><td>63,511</td><td>65,152</td><td>66,161</td></tr><tr><td>一般</td><td>66,210</td><td>67,672</td><td>68,689</td></tr></tbody></table>	項目＼年度		H27	H28	H29	新規入院患者（単位：人）		13,984	13,886	14,498	延入院患者（単位：人）		171,656	172,398	176,770	平均在院日数 （単位：日）	全体	11.3	11.4	11.2	一般	10.6	10.8	10.6	一人当たり 入院単価 （単位：円）	全体	63,511	65,152	66,161	一般	66,210	67,672	68,689	2 未収金の発生防止対策等 - 医療相談担当と医事担当との連携を図り、診療の初期段階から患者の状況に応じた制度の適用等について積極的に介入を行った。 - 弁護士事務所への未収金回収委託を継続し、未収金管理システムを活用して債権の徴収状況を定期的に把握しながら効果的な回収を進めた。 【未収金の発生状況】（各年度末時点※） <table><thead><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">H27</th><th colspan="2">H28</th><th colspan="2">H29</th></tr><tr><th>件数 （件）</th><th>金額 （千円）</th><th>件数 （件）</th><th>金額 （千円）</th><th>件数 （件）</th><th>金額 （千円）</th></tr></thead><tbody><tr><td>過 年 分</td><td>483</td><td>33,903</td><td>422</td><td>29,625</td><td>315</td><td>30,815</td></tr><tr><td>現 年 分</td><td>281</td><td>17,061</td><td>582</td><td>22,760</td><td>487</td><td>22,584</td></tr><tr><td>合 計</td><td>764</td><td>50,964</td><td>1,004</td><td>52,385</td><td>802</td><td>53,399</td></tr></tbody></table> ※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く		H27		H28		H29		件数 （件）	金額 （千円）	件数 （件）	金額 （千円）	件数 （件）	金額 （千円）	過 年 分	483	33,903	422	29,625	315	30,815	現 年 分	281	17,061	582	22,760	487	22,584	合 計	764	50,964	1,004	52,385	802	53,399	Ⅲ	DPC分析等の効果によりDPC機能評価係数を引き上げることができ評価できるが、項目全体としては、平年並みの実績と評価
項目＼年度		H27	H28	H29																																																																				
新規入院患者（単位：人）		13,984	13,886	14,498																																																																				
延入院患者（単位：人）		171,656	172,398	176,770																																																																				
平均在院日数 （単位：日）	全体	11.3	11.4	11.2																																																																				
	一般	10.6	10.8	10.6																																																																				
一人当たり 入院単価 （単位：円）	全体	63,511	65,152	66,161																																																																				
	一般	66,210	67,672	68,689																																																																				
	H27		H28		H29																																																																			
	件数 （件）	金額 （千円）	件数 （件）	金額 （千円）	件数 （件）	金額 （千円）																																																																		
過 年 分	483	33,903	422	29,625	315	30,815																																																																		
現 年 分	281	17,061	582	22,760	487	22,584																																																																		
合 計	764	50,964	1,004	52,385	802	53,399																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
		(参考) <table><tr><th>項目／年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>一日当たり外来患者数 (単位：人)</td><td>1, 191</td><td>1, 119</td><td>1, 115</td></tr><tr><td>一人当たり外来単価 (単位：円)</td><td>15, 963</td><td>16, 990</td><td>17, 575</td></tr></table>	項目／年度	H27	H28	H29	一日当たり外来患者数 (単位：人)	1, 191	1, 119	1, 115	一人当たり外来単価 (単位：円)	15, 963	16, 990	17, 575	3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応 ・ 年齢別・地域別患者動向の検証を通じ、高齢化に伴う状況把握に努めた。また、近隣医療機関との連絡会議等を通じて、関係の強化、動向把握に努めた。 ・ 医療政策において医療機能の分化・連携が推進される中、こうした行政政策に的確に対応できるよう救命救急センターや放射線診断部門の拡張、医療機器の更新等、各部門の意見を聞きながら基本設計を進めた。 ・ 各種説明会への参加等により、中央社会保険医療協議会での検討状況等の早期把握に努め、診療報酬委員会等で情報提供を行うと同時に、関係部署との調整に努め、早期の算定を実現した。(抗菌薬適正使用支援加算、医療安全対策地域連携加算、急性期一般入院基本料Ⅰなど)		
項目／年度	H27	H28	H29														
一日当たり外来患者数 (単位：人)	1, 191	1, 119	1, 115														
一人当たり外来単価 (単位：円)	15, 963	16, 990	17, 575														

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																												
25	※ 費用の削減 1 在庫管理の徹底などによる費用の削減 2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用	1 在庫管理の徹底などによる費用の削減 ・ SPD運用管理業務を活用し、診療材料の院内在庫の抑制に努めた。またSPD運営管理業務の平成31年度契約更新に向け、SPD管理の貯蔵品以外の診療材料(医療現場に直接納品される診療材料等)を含めた一元的な在庫管理の実現や、使用期限管理、実績管理等を強化について検討を行った。 ・ 診療材料のベンチマークシステムや医療コンサルタントを活用し、納入業者や納入品目の集約により診療材料費の削減に努めた。 削減額(年間予定数量ベース)： 約1,800万円 納入業者の集約：28社 → 20社 【医薬収益に対する材料費比率】 単位：％ <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>薬品費</td><td>15.62</td><td>16.10</td><td>15.91</td></tr><tr><td>診療材料費</td><td>10.12</td><td>9.73</td><td>10.34</td></tr><tr><td>材料費全体</td><td>26.03</td><td>26.39</td><td>26.32</td></tr></table> 【薬品費及び診療材料費】 単位：千円 <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>薬品費</td><td>2,459,254</td><td>2,619,397</td><td>2,689,702</td></tr><tr><td>診療材料費</td><td>1,592,602</td><td>1,582,848</td><td>1,747,406</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	薬品費	15.62	16.10	15.91	診療材料費	10.12	9.73	10.34	材料費全体	26.03	26.39	26.32	区分\年度	H27	H28	H29	薬品費	2,459,254	2,619,397	2,689,702	診療材料費	1,592,602	1,582,848	1,747,406	2 有効性・安全性に考慮した後発医薬品の採用 ・ 医薬品納入業者に採用薬品に対する後発医薬品の提案を求め、実質的な薬品費削減効果も考慮しながら、薬剤部主導で後発品の切り替え等を行った。 【後発医薬品(ジェネリック)の使用比率】 単位：％ <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>品目ベース</td><td>69.90</td><td>70.56</td><td>72.60</td></tr><tr><td>数量ベース</td><td>82.44</td><td>89.55</td><td>93.05</td></tr><tr><td>金額ベース</td><td>35.70</td><td>38.04</td><td>34.60</td></tr></table> ※使用比率は後発医薬品がある中での割合	区分\年度	H27	H28	H29	品目ベース	69.90	70.56	72.60	数量ベース	82.44	89.55	93.05	金額ベース	35.70	38.04	34.60	IV	納入業者の集約やベンチマーク等による分析、医療コンサルタントの活用により効果的に価格交渉に臨むことができ、材料費の削減で一定の成果を得た。
区分\年度	H27	H28	H29																																														
薬品費	15.62	16.10	15.91																																														
診療材料費	10.12	9.73	10.34																																														
材料費全体	26.03	26.39	26.32																																														
区分\年度	H27	H28	H29																																														
薬品費	2,459,254	2,619,397	2,689,702																																														
診療材料費	1,592,602	1,582,848	1,747,406																																														
区分\年度	H27	H28	H29																																														
品目ベース	69.90	70.56	72.60																																														
数量ベース	82.44	89.55	93.05																																														
金額ベース	35.70	38.04	34.60																																														

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期 目標	※ 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率100%以上を達成すること。 ※ 職員給与費対医薬収益比率 職員給与費対医薬収益比率については、同規模の全国自治体病院のうち黒字病院であるものの当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標期間の最終年度までに達成すること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																												
26	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率 100%以上及び職員給与費対医業収益比率を 50%以下とすることを旨とする。	・ 医業収益の増と経費節減などの努力によって、経常収支比率 102.0%となった。職員給与費対医業収益比率は目標の 50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。 【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位：％ <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>経常収支</td><td>100.5</td><td>100.7</td><td>102.0</td></tr><tr><td>職員給与費</td><td>51.5</td><td>51.7</td><td>51.0</td></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	経常収支	100.5	100.7	102.0	職員給与費	51.5	51.7	51.0		IV	独法化以降 8 年連続の黒字を計上でき、経営状況が安定している。																																																																																																
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																																														
経常収支	100.5	100.7	102.0																																																																																																														
職員給与費	51.5	51.7	51.0																																																																																																														
1 予算 (単位：百万円)		1 決算 (単位：百万円)																																																																																																															
<table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収入</td><td></td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>17,717</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>16,639</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,021</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>57</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>133</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>41</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>92</td></tr><tr><td> 資本収入</td><td>1,225</td></tr><tr><td> 長期借入金</td><td>736</td></tr><tr><td> 運営費負担金</td><td>414</td></tr><tr><td> その他資本収入</td><td>75</td></tr><tr><td> その他の収入</td><td>0</td></tr><tr><td> 計</td><td>19,075</td></tr><tr><td>支出</td><td></td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>16,090</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>15,623</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>8,478</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>4,426</td></tr><tr><td> 経費</td><td>2,659</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>60</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>467</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>315</td></tr><tr><td> 経費</td><td>152</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>97</td></tr><tr><td> 資本支出</td><td>2,012</td></tr></table>		区 分	金 額	収入		営業収益	17,717	医業収益	16,639	運営費負担金収益	1,021	その他営業収益	57	営業外収益	133	運営費負担金収益	41	その他営業外収益	92	資本収入	1,225	長期借入金	736	運営費負担金	414	その他資本収入	75	その他の収入	0	計	19,075	支出		営業費用	16,090	医業費用	15,623	給与費	8,478	材料費	4,426	経費	2,659	研究研修費	60	一般管理費	467	給与費	315	経費	152	営業外費用	97	資本支出	2,012	<table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収入</td><td></td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>19,303</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>18,157</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,072</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>74</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>150</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>41</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>109</td></tr><tr><td> 資本収入</td><td>1,070</td></tr><tr><td> 長期借入金</td><td>724</td></tr><tr><td> 運営費負担金</td><td>323</td></tr><tr><td> その他資本収入</td><td>23</td></tr><tr><td> その他の収入</td><td>0</td></tr><tr><td> 計</td><td>20,523</td></tr><tr><td>支出</td><td></td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>16,377</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>15,871</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>8,238</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>4,815</td></tr><tr><td> 経費</td><td>2,762</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>56</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>506</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>364</td></tr><tr><td> 経費</td><td>142</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>103</td></tr><tr><td> 資本支出</td><td>1,839</td></tr></table>		区 分	金 額	収入		営業収益	19,303	医業収益	18,157	運営費負担金収益	1,072	その他営業収益	74	営業外収益	150	運営費負担金収益	41	その他営業外収益	109	資本収入	1,070	長期借入金	724	運営費負担金	323	その他資本収入	23	その他の収入	0	計	20,523	支出		営業費用	16,377	医業費用	15,871	給与費	8,238	材料費	4,815	経費	2,762	研究研修費	56	一般管理費	506	給与費	364	経費	142	営業外費用	103	資本支出	1,839		
区 分	金 額																																																																																																																
収入																																																																																																																	
営業収益	17,717																																																																																																																
医業収益	16,639																																																																																																																
運営費負担金収益	1,021																																																																																																																
その他営業収益	57																																																																																																																
営業外収益	133																																																																																																																
運営費負担金収益	41																																																																																																																
その他営業外収益	92																																																																																																																
資本収入	1,225																																																																																																																
長期借入金	736																																																																																																																
運営費負担金	414																																																																																																																
その他資本収入	75																																																																																																																
その他の収入	0																																																																																																																
計	19,075																																																																																																																
支出																																																																																																																	
営業費用	16,090																																																																																																																
医業費用	15,623																																																																																																																
給与費	8,478																																																																																																																
材料費	4,426																																																																																																																
経費	2,659																																																																																																																
研究研修費	60																																																																																																																
一般管理費	467																																																																																																																
給与費	315																																																																																																																
経費	152																																																																																																																
営業外費用	97																																																																																																																
資本支出	2,012																																																																																																																
区 分	金 額																																																																																																																
収入																																																																																																																	
営業収益	19,303																																																																																																																
医業収益	18,157																																																																																																																
運営費負担金収益	1,072																																																																																																																
その他営業収益	74																																																																																																																
営業外収益	150																																																																																																																
運営費負担金収益	41																																																																																																																
その他営業外収益	109																																																																																																																
資本収入	1,070																																																																																																																
長期借入金	724																																																																																																																
運営費負担金	323																																																																																																																
その他資本収入	23																																																																																																																
その他の収入	0																																																																																																																
計	20,523																																																																																																																
支出																																																																																																																	
営業費用	16,377																																																																																																																
医業費用	15,871																																																																																																																
給与費	8,238																																																																																																																
材料費	4,815																																																																																																																
経費	2,762																																																																																																																
研究研修費	56																																																																																																																
一般管理費	506																																																																																																																
給与費	364																																																																																																																
経費	142																																																																																																																
営業外費用	103																																																																																																																
資本支出	1,839																																																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																				
	<table><tr><td rowspan="5"></td><td>建設改良費</td><td>1, 4 2 0</td></tr><tr><td>償還金</td><td>5 1 5</td></tr><tr><td>その他資本支出</td><td>7 7</td></tr><tr><td>その他の支出</td><td>1 0</td></tr><tr><td>計</td><td>1 8, 2 0 9</td></tr></table> (注記 略)		建設改良費	1, 4 2 0	償還金	5 1 5	その他資本支出	7 7	その他の支出	1 0	計	1 8, 2 0 9	<table><tr><td rowspan="5"></td><td>建設改良費</td><td>1, 2 5 5</td></tr><tr><td>償還金</td><td>5 2 3</td></tr><tr><td>その他資本支出</td><td>6 1</td></tr><tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>1 8, 3 1 9</td></tr></table> (注記 略)		建設改良費	1, 2 5 5	償還金	5 2 3	その他資本支出	6 1	その他の支出	0	計	1 8, 3 1 9																																																																																																	
	建設改良費		1, 4 2 0																																																																																																																						
	償還金		5 1 5																																																																																																																						
	その他資本支出		7 7																																																																																																																						
	その他の支出		1 0																																																																																																																						
	計	1 8, 2 0 9																																																																																																																							
	建設改良費	1, 2 5 5																																																																																																																							
	償還金	5 2 3																																																																																																																							
	その他資本支出	6 1																																																																																																																							
	その他の支出	0																																																																																																																							
	計	1 8, 3 1 9																																																																																																																							
2 収支計画	(単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収益の部</td><td>1 7, 8 2 3</td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>1 7, 6 9 4</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>1 6, 6 1 1</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1, 0 2 1</td></tr><tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>5 6</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>1 2 9</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>4 1</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>8 8</td></tr><tr><td> 臨時利益</td><td>0</td></tr><tr><td>費用の部</td><td>1 7, 7 2 3</td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>1 7, 0 8 9</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>1 6, 6 0 7</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>8, 3 6 0</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>4, 3 6 6</td></tr><tr><td> 経費</td><td>2, 4 9 3</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>1, 3 3 2</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>5 6</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>4 8 2</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>3 1 0</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>2 6</td></tr><tr><td> 経費</td><td>1 4 6</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>6 2 4</td></tr><tr><td> 臨時損失</td><td>0</td></tr><tr><td> 予備費</td><td>1 0</td></tr><tr><td>純利益</td><td>1 0 0</td></tr><tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr><tr><td>総利益</td><td>1 0 0</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	収益の部	1 7, 8 2 3	営業収益	1 7, 6 9 4	医業収益	1 6, 6 1 1	運営費負担金収益	1, 0 2 1	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	5 6	営業外収益	1 2 9	運営費負担金収益	4 1	その他営業外収益	8 8	臨時利益	0	費用の部	1 7, 7 2 3	営業費用	1 7, 0 8 9	医業費用	1 6, 6 0 7	給与費	8, 3 6 0	材料費	4, 3 6 6	経費	2, 4 9 3	減価償却費	1, 3 3 2	研究研修費	5 6	一般管理費	4 8 2	給与費	3 1 0	減価償却費	2 6	経費	1 4 6	営業外費用	6 2 4	臨時損失	0	予備費	1 0	純利益	1 0 0	目的積立金取崩額	0	総利益	1 0 0	2 収支計画に対する実績 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収益の部</td><td>1 8, 3 5 3</td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>1 8, 0 4 4</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>1 6, 9 0 1</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1, 0 6 4</td></tr><tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>7</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>7 2</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>1 3 2</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>4 1</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>9 1</td></tr><tr><td> 臨時利益</td><td>1 7 7</td></tr><tr><td>費用の部</td><td>1 7, 8 9 8</td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>1 7, 0 8 2</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>1 6, 5 2 8</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>8, 2 4 4</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>4, 4 4 9</td></tr><tr><td> 経費</td><td>2, 5 7 2</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>1, 2 1 1</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>5 2</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>5 5 4</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>3 8 1</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>2 6</td></tr><tr><td> 経費</td><td>1 4 7</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>7 4 0</td></tr><tr><td> 臨時損失</td><td>7 6</td></tr><tr><td> 予備費</td><td>0</td></tr><tr><td>純利益</td><td>4 5 5</td></tr><tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr><tr><td>総利益</td><td>4 5 5</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	収益の部	1 8, 3 5 3	営業収益	1 8, 0 4 4	医業収益	1 6, 9 0 1	運営費負担金収益	1, 0 6 4	資産見返負債戻入	7	その他営業収益	7 2	営業外収益	1 3 2	運営費負担金収益	4 1	その他営業外収益	9 1	臨時利益	1 7 7	費用の部	1 7, 8 9 8	営業費用	1 7, 0 8 2	医業費用	1 6, 5 2 8	給与費	8, 2 4 4	材料費	4, 4 4 9	経費	2, 5 7 2	減価償却費	1, 2 1 1	研究研修費	5 2	一般管理費	5 5 4	給与費	3 8 1	減価償却費	2 6	経費	1 4 7	営業外費用	7 4 0	臨時損失	7 6	予備費	0	純利益	4 5 5	目的積立金取崩額	0	総利益	4 5 5			
区 分	金 額																																																																																																																								
収益の部	1 7, 8 2 3																																																																																																																								
営業収益	1 7, 6 9 4																																																																																																																								
医業収益	1 6, 6 1 1																																																																																																																								
運営費負担金収益	1, 0 2 1																																																																																																																								
資産見返負債戻入	6																																																																																																																								
その他営業収益	5 6																																																																																																																								
営業外収益	1 2 9																																																																																																																								
運営費負担金収益	4 1																																																																																																																								
その他営業外収益	8 8																																																																																																																								
臨時利益	0																																																																																																																								
費用の部	1 7, 7 2 3																																																																																																																								
営業費用	1 7, 0 8 9																																																																																																																								
医業費用	1 6, 6 0 7																																																																																																																								
給与費	8, 3 6 0																																																																																																																								
材料費	4, 3 6 6																																																																																																																								
経費	2, 4 9 3																																																																																																																								
減価償却費	1, 3 3 2																																																																																																																								
研究研修費	5 6																																																																																																																								
一般管理費	4 8 2																																																																																																																								
給与費	3 1 0																																																																																																																								
減価償却費	2 6																																																																																																																								
経費	1 4 6																																																																																																																								
営業外費用	6 2 4																																																																																																																								
臨時損失	0																																																																																																																								
予備費	1 0																																																																																																																								
純利益	1 0 0																																																																																																																								
目的積立金取崩額	0																																																																																																																								
総利益	1 0 0																																																																																																																								
区 分	金 額																																																																																																																								
収益の部	1 8, 3 5 3																																																																																																																								
営業収益	1 8, 0 4 4																																																																																																																								
医業収益	1 6, 9 0 1																																																																																																																								
運営費負担金収益	1, 0 6 4																																																																																																																								
資産見返負債戻入	7																																																																																																																								
その他営業収益	7 2																																																																																																																								
営業外収益	1 3 2																																																																																																																								
運営費負担金収益	4 1																																																																																																																								
その他営業外収益	9 1																																																																																																																								
臨時利益	1 7 7																																																																																																																								
費用の部	1 7, 8 9 8																																																																																																																								
営業費用	1 7, 0 8 2																																																																																																																								
医業費用	1 6, 5 2 8																																																																																																																								
給与費	8, 2 4 4																																																																																																																								
材料費	4, 4 4 9																																																																																																																								
経費	2, 5 7 2																																																																																																																								
減価償却費	1, 2 1 1																																																																																																																								
研究研修費	5 2																																																																																																																								
一般管理費	5 5 4																																																																																																																								
給与費	3 8 1																																																																																																																								
減価償却費	2 6																																																																																																																								
経費	1 4 7																																																																																																																								
営業外費用	7 4 0																																																																																																																								
臨時損失	7 6																																																																																																																								
予備費	0																																																																																																																								
純利益	4 5 5																																																																																																																								
目的積立金取崩額	0																																																																																																																								
総利益	4 5 5																																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																								
	3 資金計画 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>資金収入</td><td>27,702</td></tr><tr><td>業務活動による収入</td><td>17,850</td></tr><tr><td>診療業務による収入</td><td>16,639</td></tr><tr><td>運営費負担金による収入</td><td>1,062</td></tr><tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>149</td></tr><tr><td>投資活動による収入</td><td>115</td></tr><tr><td>運営費負担金による収入</td><td>40</td></tr><tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>75</td></tr><tr><td>財務活動による収入</td><td>1,110</td></tr><tr><td>長期借入による収入</td><td>736</td></tr><tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>374</td></tr><tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>8,627</td></tr><tr><td>資金支出</td><td>27,702</td></tr><tr><td>業務活動による支出</td><td>16,187</td></tr><tr><td>給与費支出</td><td>8,793</td></tr><tr><td>材料費支出</td><td>4,425</td></tr><tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>2,969</td></tr><tr><td>投資活動による支出</td><td>1,496</td></tr><tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>1,420</td></tr><tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>76</td></tr><tr><td>財務活動による支出</td><td>515</td></tr><tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>199</td></tr><tr><td>移前地方債償還義務の償還による支出</td><td>316</td></tr><tr><td>その他財務活動による支出</td><td>0</td></tr><tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>9,504</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	27,702	業務活動による収入	17,850	診療業務による収入	16,639	運営費負担金による収入	1,062	その他の業務活動による収入	149	投資活動による収入	115	運営費負担金による収入	40	その他の投資活動による収入	75	財務活動による収入	1,110	長期借入による収入	736	その他の財務活動による収入	374	前事業年度からの繰越金	8,627	資金支出	27,702	業務活動による支出	16,187	給与費支出	8,793	材料費支出	4,425	その他の業務活動による支出	2,969	投資活動による支出	1,496	有形固定資産の取得による支出	1,420	その他の投資活動による支出	76	財務活動による支出	515	長期借入金の返済による支出	199	移前地方債償還義務の償還による支出	316	その他財務活動による支出	0	翌事業年度への繰越金	9,504	3 資金計画に対する実績 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>資金収入</td><td>28,188</td></tr><tr><td>業務活動による収入</td><td>18,527</td></tr><tr><td>診療業務による収入</td><td>17,045</td></tr><tr><td>運営費負担金による収入</td><td>1,113</td></tr><tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>369</td></tr><tr><td>投資活動による収入</td><td>87</td></tr><tr><td>運営費負担金による収入</td><td>19</td></tr><tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>68</td></tr><tr><td>財務活動による収入</td><td>1,028</td></tr><tr><td>長期借入による収入</td><td>724</td></tr><tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>304</td></tr><tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>8,546</td></tr><tr><td>資金支出</td><td>28,188</td></tr><tr><td>業務活動による支出</td><td>16,677</td></tr><tr><td>給与費支出</td><td>6,865</td></tr><tr><td>材料費支出</td><td>4,772</td></tr><tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>5,040</td></tr><tr><td>投資活動による支出</td><td>1,452</td></tr><tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>1,375</td></tr><tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>77</td></tr><tr><td>財務活動による支出</td><td>523</td></tr><tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>207</td></tr><tr><td>移前地方債償還義務の償還による支出</td><td>316</td></tr><tr><td>その他財務活動による支出</td><td>0</td></tr><tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>9,536</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	28,188	業務活動による収入	18,527	診療業務による収入	17,045	運営費負担金による収入	1,113	その他の業務活動による収入	369	投資活動による収入	87	運営費負担金による収入	19	その他の投資活動による収入	68	財務活動による収入	1,028	長期借入による収入	724	その他の財務活動による収入	304	前事業年度からの繰越金	8,546	資金支出	28,188	業務活動による支出	16,677	給与費支出	6,865	材料費支出	4,772	その他の業務活動による支出	5,040	投資活動による支出	1,452	有形固定資産の取得による支出	1,375	その他の投資活動による支出	77	財務活動による支出	523	長期借入金の返済による支出	207	移前地方債償還義務の償還による支出	316	その他財務活動による支出	0	翌事業年度への繰越金	9,536			
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	27,702																																																																																																												
業務活動による収入	17,850																																																																																																												
診療業務による収入	16,639																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,062																																																																																																												
その他の業務活動による収入	149																																																																																																												
投資活動による収入	115																																																																																																												
運営費負担金による収入	40																																																																																																												
その他の投資活動による収入	75																																																																																																												
財務活動による収入	1,110																																																																																																												
長期借入による収入	736																																																																																																												
その他の財務活動による収入	374																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	8,627																																																																																																												
資金支出	27,702																																																																																																												
業務活動による支出	16,187																																																																																																												
給与費支出	8,793																																																																																																												
材料費支出	4,425																																																																																																												
その他の業務活動による支出	2,969																																																																																																												
投資活動による支出	1,496																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	1,420																																																																																																												
その他の投資活動による支出	76																																																																																																												
財務活動による支出	515																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	199																																																																																																												
移前地方債償還義務の償還による支出	316																																																																																																												
その他財務活動による支出	0																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	9,504																																																																																																												
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	28,188																																																																																																												
業務活動による収入	18,527																																																																																																												
診療業務による収入	17,045																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,113																																																																																																												
その他の業務活動による収入	369																																																																																																												
投資活動による収入	87																																																																																																												
運営費負担金による収入	19																																																																																																												
その他の投資活動による収入	68																																																																																																												
財務活動による収入	1,028																																																																																																												
長期借入による収入	724																																																																																																												
その他の財務活動による収入	304																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	8,546																																																																																																												
資金支出	28,188																																																																																																												
業務活動による支出	16,677																																																																																																												
給与費支出	6,865																																																																																																												
材料費支出	4,772																																																																																																												
その他の業務活動による支出	5,040																																																																																																												
投資活動による支出	1,452																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	1,375																																																																																																												
その他の投資活動による支出	77																																																																																																												
財務活動による支出	523																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	207																																																																																																												
移前地方債償還義務の償還による支出	316																																																																																																												
その他財務活動による支出	0																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	9,536																																																																																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理 由		1 限度額 ・ 10億円 2 想定される短期借入金の発生理 由 ・ 実績なし	一	

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 出資等に係る不要財産又は出資 等に係る不要財産となることが見 込まれる財産がある場合には、当 該財産の処分に関する計画		・ 該当なし	一	

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保 に供しようとするときは、その計 画		・ 該当なし	一	

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 剰余金の使途		・ 該当なし	一	

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の就労環境の向上	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に生かし、医療従事者を必要数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
	8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実に行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																													
27	※ 職員の就労環境の向上 1 職員の就労環境の整備 2 職員の健康管理対策の充実 3 院内保育施設の充実	3 院内保育施設の充実 ・ 保育所運営委託業者を交えて設計委託業者と協議を重ね、実施設計を完了した。また、平成 30 年 3 月に入札を実施して施工業者を決定し平成 31 年 3 月移転、開設に向けた準備を行った。 ・ 夜間保育、休日保育、病児保育について継続して実施した。 【院内保育状況】 単位：人・日（各年度末時点） <table><tr><th colspan="2">区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td colspan="2">入所者数</td><td>54</td><td>54</td><td>52</td></tr><tr><td rowspan="2">夜間保育</td><td>利用者数</td><td>46</td><td>87</td><td>103</td></tr><tr><td>対応曜日</td><td>木曜日</td><td>木曜日</td><td>木曜日</td></tr><tr><td colspan="2">休日保育日数</td><td>110</td><td>114</td><td>102</td></tr><tr><td colspan="2">病児保育利用（延人数）</td><td>116</td><td>88</td><td>75</td></tr></table>	区分\年度		H27	H28	H29	入所者数		54	54	52	夜間保育	利用者数	46	87	103	対応曜日	木曜日	木曜日	木曜日	休日保育日数		110	114	102	病児保育利用（延人数）		116	88	75	1 職員の就労環境の整備 ・ 年次休暇の取得について、各部門長により計画的な取得を推進するとともに、夏期休暇やリフレッシュ休暇などの休暇の取得促進を図った。 ・ 職員食堂における特別メニュー、イベントメニューの導入や職員エリア内に設置してある飲料自動販売機の販売価格の見直しを行った。 【有給休暇取得率】 単位：％ <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>年次休暇</td><td>27.3</td><td>27.5</td><td>25.9</td></tr><tr><td>夏期休暇</td><td>92.5</td><td>87.6</td><td>86.3</td></tr><tr><td>誕生日休暇</td><td>74.7</td><td>79.1</td><td>79.4</td></tr><tr><td>リフレッシュ休暇</td><td>—</td><td>78.2</td><td>78.3</td></tr></table> 【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>利用者数</td><td>27</td><td>29</td><td>35</td></tr></table> 【医師・看護師事務作業補助者数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr></table>	区分\年度	H27	H28	H29	年次休暇	27.3	27.5	25.9	夏期休暇	92.5	87.6	86.3	誕生日休暇	74.7	79.1	79.4	リフレッシュ休暇	—	78.2	78.3	区分\年度	H27	H28	H29	利用者数	27	29	35	区分\年度	H27	H28	H29	Ⅲ	院内保育所の新築移転計画は、設計が完了、施工業者も決定し、進捗したが、項目全体としては、平年並みと評価
区分\年度		H27	H28	H29																																																														
入所者数		54	54	52																																																														
夜間保育	利用者数	46	87	103																																																														
	対応曜日	木曜日	木曜日	木曜日																																																														
休日保育日数		110	114	102																																																														
病児保育利用（延人数）		116	88	75																																																														
区分\年度	H27	H28	H29																																																															
年次休暇	27.3	27.5	25.9																																																															
夏期休暇	92.5	87.6	86.3																																																															
誕生日休暇	74.7	79.1	79.4																																																															
リフレッシュ休暇	—	78.2	78.3																																																															
区分\年度	H27	H28	H29																																																															
利用者数	27	29	35																																																															
区分\年度	H27	H28	H29																																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
			<table><tr><td>医師事務作業補助者 (医療クラーク)</td><td>43</td><td>37</td><td>37</td></tr><tr><td>病棟事務補助者 (看護クラーク)</td><td>12</td><td>11</td><td>16</td></tr><tr><td>合 計</td><td>55</td><td>48</td><td>53</td></tr></table> 2 職員の健康管理対策の充実 - 新規採用者のオリエンテーション時に精神科部長を講師として、メンタルヘルスについての研修を行った。また、管理職、課長補佐級職員を対象にメンタルヘルス講習会を実施した。 - 前期一般定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。また、定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示のあった職員に対するフォローアップも行った。健康管理対策の充実に努めた。 【メンタルヘルスケア相談件数】単位：件 <table><tr><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr><tr><td>9</td><td>10</td><td>15</td></tr></table> 【メンタルヘルス講習会参加者数】単位：人 <table><tr><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr><tr><td>88</td><td>78</td><td>92</td></tr></table>	医師事務作業補助者 (医療クラーク)	43	37	37	病棟事務補助者 (看護クラーク)	12	11	16	合 計	55	48	53	H27	H28	H29	9	10	15	H27	H28	H29	88	78	92		
医師事務作業補助者 (医療クラーク)	43	37	37																										
病棟事務補助者 (看護クラーク)	12	11	16																										
合 計	55	48	53																										
H27	H28	H29																											
9	10	15																											
H27	H28	H29																											
88	78	92																											
28	※ 岐阜県及び他の地方独立行政 法人との連携に関する事項		- 県が(株)富士通総研に事業委託し設立した岐阜県BCP研修・訓練センターの支援を得ながらBCP（診療継続計画）の策定を進め、災害医療体制の充実を図った。 - 岐阜県総合医療センターの医師を講師に招き、感染対策講演会を開催し、県立病院間で業務事例を情報共有することができた。 - 県(医療整備課)に随時基本設計の検討図案等を提供したほか、県公共建築課へ基本設計案について説明し意見を求めた。	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価																								
29	※ 施設・医療機器の整備に関する 事項 1 医療機器の計画的な更新・整備	1 医療機器の計画的な更新・整備 医療機器等の整備については、新棟整備計画を踏まえ「緊急度・移設性・収益性」などを総合的に勘案し整備を進めるため、平成29年度は、高額医療機器（3,000万円以上の放射線機器・手術室機器等）について、医業経営コンサルタントのサポートを受けな		Ⅳ	新中央診療棟整備に向け、関連事業も含め、着実に遂行できている。																								

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																
	2 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備	がら新規購入・更新の要望を取りまとめた。（平成 30 年度中に高額医療機器以外の医療機器も含めた全体的な整備計画を策定する予定） （単位：百万円） <table><tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>医療機器等整備</td><td>526</td><td>246</td><td>177</td></tr><tr><td>施設等整備</td><td>318</td><td>370</td><td>38</td></tr><tr><td>合 計</td><td>844</td><td>616</td><td>215</td></tr></table> 2 質の高い医療をするための新中央診療棟の整備 ・ プロポーザル方式により基本設計業務委託業者を選定し、平成 29 年 7 月に契約を締結し基本設計に着手した。院内各部門ワーキンググループにおいて具体的な検討を重ね、平成 30 年 6 月末の基本設計策定に向けて取り組んだ。 ・ 立体駐車場整備については、平成 30 年 6 月にプロポーザルを実施する予定で、仕様書の作成等を進めた。 ・ 情報ネットワーク機器の更新については、医療総合情報システム（電子カルテ）の再構築に合わせて 6 年計画を策定した。 ・ 医療総合情報システム（電子カルテ）の更新については、平成 31(2019)年 5 月の稼働に向け計画を推進した。	区分\年度	H27	H28	H29	医療機器等整備	526	246	177	施設等整備	318	370	38	合 計	844	616	215			
区分\年度	H27	H28	H29																		
医療機器等整備	526	246	177																		
施設等整備	318	370	38																		
合 計	844	616	215																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H29 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																						
30	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		・ 法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行った。 【企業債償還額（元本）】（単位：百万円） <table><tr><th>償還月</th><th>金 額</th></tr><tr><td>9 月</td><td>260</td></tr><tr><td>3 月</td><td>263</td></tr><tr><td>計</td><td>523</td></tr></table> 【債務の償還状況（合計）】（単位：百万円） <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第 1 期中期計画期間計</td><td>3, 603</td></tr><tr><td>H27</td><td>485</td></tr><tr><td>H28</td><td>589</td></tr><tr><td>H29</td><td>523</td></tr></table> (内訳) 移行前地方債償還債務（単位：百万円） <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第 1 期中期計画期間計</td><td>3, 211</td></tr><tr><td>H27</td><td>297</td></tr><tr><td>H28</td><td>307</td></tr><tr><td>H29</td><td>316</td></tr></table> 長期借入金償還額（単位：百万円） <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第 1 期中期計画期間計</td><td>392</td></tr><tr><td>H27</td><td>188</td></tr><tr><td>H28</td><td>282</td></tr><tr><td>H29</td><td>207</td></tr></table>	償還月	金 額	9 月	260	3 月	263	計	523	年度	実績	第 1 期中期計画期間計	3, 603	H27	485	H28	589	H29	523	年度	実績	第 1 期中期計画期間計	3, 211	H27	297	H28	307	H29	316	年度	実績	第 1 期中期計画期間計	392	H27	188	H28	282	H29	207	Ⅲ	償還計画に則って償還できている。
償還月	金 額																																										
9 月	260																																										
3 月	263																																										
計	523																																										
年度	実績																																										
第 1 期中期計画期間計	3, 603																																										
H27	485																																										
H28	589																																										
H29	523																																										
年度	実績																																										
第 1 期中期計画期間計	3, 211																																										
H27	297																																										
H28	307																																										
H29	316																																										
年度	実績																																										
第 1 期中期計画期間計	392																																										
H27	188																																										
H28	282																																										
H29	207																																										
31	※ 積立金の使途		・ 前期中期目標期間における積立金については、今後発生する病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	Ⅲ	計画に則って資金留保できている。																																						

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況